関大
発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敬民蔵
電話 06 (388) 1121代表
振替口座大阪55594番

新執行部力強く発足

常議員大幅若返り

副会長 村上、田村、荒井三氏

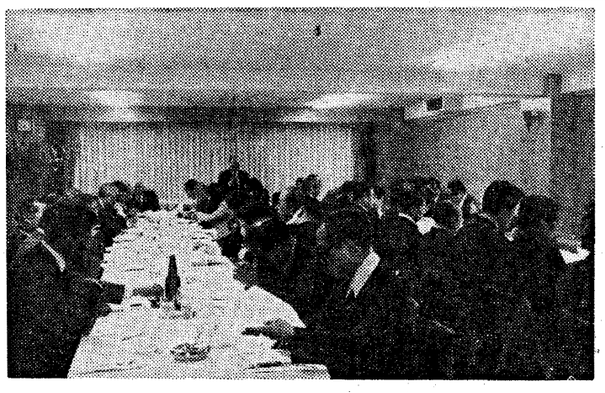
校友十八万人を数える関西大学校友会の新執行部が、三月十九日に力強く誕生した。この日、大阪・第一生命ビル好文クラブで開かれた第一回常議員会で、副会長に村上精三（再）、田村徳夫（新）、荒井広（新）の三氏が選出され、顧問、参与の役員も決まった。一八八六年（明治十九年）創立の母校が、四年後に百周年を迎えるだけに、「樫本八選執行部」は、清新で活力あふれる協力体制を整え、第一歩を踏み出した。

二月六日、大阪商工会議所で開いた臨時代議員会をうけて、樫本会長の指名による選考委員会（村上精三委員長・以下十七名）は、計六回、慎重な人選を進めた。「母校創立百周年をひかえ、校友会は重大な使命をになう清新にして活動力のある執行部づくり」を基本方針に、若返り、広報活動の充実、企業経営者（実業人）の増ワクをはかった。また、地域支部、自治体職域懇談会、修士会、体育OBなど組織活動の盛んな母体からの新人の登用に力点がおかれた。

その結果、新常議員五十人の顔ぶれは、再任二十八人、新人二十二人と、改選率は四四％に達し、かなり大幅な交代となった。

世代別にみると、卒業期によって四区分して選考、昭和一期（昭19年まで）が七人、二期（昭20年代）が二十三人、三期（昭30年代）十七人、四期（昭40年以降）三人となり、昭和二、三年代が八〇％を占め若返りをみせた。

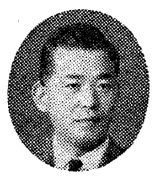
監事（三人）は、職業分野を考えて、寺西武氏（大阪府議）を再期に引き続き村上氏、新たに田村、荒井の両氏が、常議員会に推薦され、満場一致で承認した。三氏とも、校友会活動に精通しており、樫本会長を補佐することになった。


第1回常議員会で副会長人事を発表する樫本校友会長

寺西　武監事

村上精三副会長

山田栄一監事


田村徳夫副会長

宇津呂雄章監事

荒井広副会長

顧問に大西学長

新参与に四氏

顧問に大西昭男・関西大学学長を委嘱。参与には、新たに四人が加わり、計十五人となった。

新参与は、前期代議員会議長を勤めた矢野文雄氏、前期校友会副会長の重責をになった菅田定男氏、さらに関大修士会長・法人評議員会副議長の佐々木砂夫氏、法人評議員会副議長・校友会監事などを歴任した大森俊次氏の四氏に委嘱された。

新執行部の総務、事業、広報、組織、財務の五部への常議員分属は、規定により会長が決め、第二回常議員会（三月二十九日）に発表され、各部の正副部長を互選。

新役員の顔ぶれ（五十音順）

顧問
大西　昭男（昭22専二国）関西大学・学長

参与
菅田　定男（昭18大政）大阪女学院短大講師
岩佐清三郎（昭7大法）（㈱）与太宮会長
大森　俊次（昭30学二法）特定郵便局長会顧問
寒川　喜一（昭8専一法）寒川労働コンサルタント所長
菊久池　博（昭8専二法）（㈱）近畿相互銀行相談役
佐々木砂夫（昭27院修法）大阪府会議員

監事
宇津呂雄章（昭30学一法）弁護士
寺西　武（昭24大法）大阪府会議員
山田　栄一（昭25大経）公認会計士

常議員
有福　健（昭28院修法）関西大学経済政治研究所事務長　再
井口　守和（昭41学工電）井口病院事務長　新
井阪　喜子（昭24大法）泉大津市教育委員　新
桑田　慶視（昭29学一新）大阪府企画部統計課参事　新
一軸　浩幸（昭33学一法）弁護士　再
上田　保雄（昭20専一経）鹿島建設㈱神戸営業所長　新
上原　洋允（昭32学一法）弁護士　新
植田　喜一（昭29学二経）司法書士　再
遠藤　渉（昭19専一商）大阪市収入役　再
岡田　誠一（昭34学一商）㈱オカダ代表取締役　新
片野　総一郎（昭24専一経）㈱片野洋服店取締役社長　再
片山　久江（昭44学一法）弁護士　再
狩野　吉清（昭27学一英）毎日新聞編集局校閲部長　新
神戸　誓弘（昭33学二経）永和商事㈱専務取締役　再
木村　功（昭22専一商）公認会計士・税理士　新
木村　吉治（昭32学一法）弁護士　新
菊池　清（昭24大経）㈱ミツワゴルフ取締役会長　新
北嶋郁之介（昭23大経）㈱北尾商店社長　新
倉谷　精一（昭19専一商）大阪ダイハツ販売㈱取締役　再
倉永　悦雄（昭31学一経）㈱トーメン・ハウジング大阪支店支店長代理　再
小林　正立（昭14大法）岡山建設㈱監査役　再
西庄　俊三（昭38学一法）大阪市住宅供給公社管理部管理係長　新
坂本悠喜雄（昭31院修英）関西大学文学部教授　新
酒井　彦一（昭29学一商）㈱大市里布本舗電務取締役　新
沢　勲（昭42院博電）大阪経済大学参事　再
篠原　茂一（昭27学一法）関西大学年史資料編集室　新
篠原　昭三（昭29院修法）大阪府衛生部病院管理監　再
新美　儀治（昭37学一経）㈲太洋レコード関西代表取締役　新
高田　明（昭23大法）箕面市教育委員会教育次長　新
谷　清輝（昭25大法）税理士　新
富田　武（昭17大経）㈱ツルヤ商店代表取締役　再
橋本　栄次（昭30学一商）大阪国税局尼崎税務署長　再
中上　光雄（昭23専二商）京都観光物産㈱専務取締役　再
畑下　辰典（昭27学二経）公認会計士　再
伴　義孝（昭38学一商）関西大学文学部教授　再
東浦　栄一（昭26学一商）東浦自工㈱取締役社長　再
福永　利一（昭28学一経）福永商工㈱代表取締役社長　再
藤井　拓蔵（昭39院修工）関西大学工学部助教授　再
宝田　重幸（昭34学一法）関西化成㈱代表取締役社長　再
松井　清（昭13専一経）サン商事㈱代表取締役　再
丸岡　武（昭32学二法）㈱セールス・プロモーション・ロビー代表取締役社長　再
保井　剛（昭14大法）保井金属㈱代表取締役社長　再
山本　守昭（昭28学二商）税理士　再
横山　茂昭（昭29学一経）横山産業㈱代表取締役　再
和田　栄喜（昭28学一法）弁護士　再
和田　孝文（昭31学一新）徳成寺住職　新

副会長
坂本　龍夫（昭14専一商）税理士
戸根　泰雄（昭7大経）多田プラスチック㈱顧問
西村治三郎（大14専商）神戸トヨペット㈱社長
松村　睦鴻（㈱）阪急南小倉屋顧問（大15大法）
三島　律夫（大11専商）関大一高名誉校長
矢野　文雄（昭9大法）ヤノシゲ㈱取締役社長
安富　敏作（昭7大政）弁護士
山崎　敬雄（大14大法）弁護士
吉田鹿之助（大13専法）㈱東洋現像所顧問

副会長プロフィール

村上精三氏

大阪市役所時代の村上氏について「反骨精神旺盛で、型破りな自由人。おもに役人の型からはみ出した人」と、後輩は敬愛をこめて語る。現在、主宰している大阪経営者懇話会は、十六年前、左藤大阪府知事に働きかけて発足、政財界の著名人を集めて、毎月勉強会を開いている。この会も「私の役目は関大のPRと、機会あることに母校の発展を心がけている。

組織づくりのアイデアと、バイタリティーには定評がある。古くは、大阪市役所に校友会支部をつくり初代支部長に就任。三年前には、大阪府下の自治体で働く校友を一体化して、自治体職域懇話会を組織した。女性校友がふえてきたからと、女子秀麗会の誕生にひと役買ったのも、この人。

三期目の副会長に就任、創立百周年の大事業を間近かに、今度はどんなアイデアが浮かび出すか。

田村徳夫氏

昭和十八年組の「千里一八会」の代表幹事で、法律事務所はそっくり同期生会事務局。信望の厚さを物語っている。

戦争たけなわの学生時代、配属将校が、軍人勅諭の暗記ぶりをテストしたとき、堂々と〝持ちこみ受験〟して、みつかった。「キサマッ」と、怒鳴る佐殿（一佐）に平然として「私は、陸軍委託学生。軍籍にある者が、一字一句たりとも間違いあってはいけない」と、カンニングを続行。胆っ玉ぶりに衆目が集まった。

法学部一年生で、司法試験に合格。陸軍軍法会議裁判官を経て、弁護士。倒産会社の管財人となり、減量経営のため首切りもしたかわりに、芦屋の別荘を従業員の福利厚生施設に無料提供、みごと再建したことも。大阪弁護士会副会長・司法修習委員長なども歴任し、法人の監事。ゴルフはハンディ18。とびた日熟味をました63歳。

荒井　広氏

生まれは阿波・徳島。センバツで、イレブン旋風をまき起こし、甲子園をわかせた池田高（旧制中学）の出身。少年期は、吉野川のカッパだった。大阪国税局徴収部長で、役人生活にピリオドを打った。その年が国税秀麗会結成二十五周年にあたり、「会長在職中に、ぜひ記念大会を」という後輩たちの声で、急きょ繰りあげられたのも、日ごろの面倒見のよさから。

スポーツマンらしくフェアープレー精神にあふれ、弁理士になってからは、正しい税知識の啓発にこれ努めている。

副会長就任の第一声が「年功ということで大役を仰せつかりましたが、功なくして年ばかりで…」と、謙虚で、おだやかなこの人らしい言葉。昭和四十二年からの常議員で財務、総務部長を歴任、各種規定を整備した。老化に歯止めをかけるゴルフはハンディ15。

五千人の新校友

晴れやかに56年度卒業式

五十六年度の学部卒業式は、三月二十五日に千里山学舎体育館と、天六学舎（二部）で行われ、約五千人の新学士が、関大キャンパスから社会に巣立つ。

一部法、文、社三学部は、午前十時から千里山体育館で行われ、文学部桜井慶子さんが代表して答辞を読む。

続いて午後一時から、経、商、工三学部が同体育館で行い、経済学部本田豊君が答辞する。

また、二部は、法、文、経、商、社五学部が、午後五時半から天六学舎三二教室で行われる。答辞は、社会学部倉満（けま）芳良三が読む。

各学部の総代はつぎの通り（敬称略）

【一部】法・松島重理▽文・林佳明▽経済・羽口裕二▽商・田原和幸▽社会・北村由美▽工・谷貴之

【二部】法・保科秀行▽文・芝原良三▽経済・大島秀樹▽商・増田佳代子▽社会・山本準

学位記授与式

大学院学位記授与式は、三月二十七日午前十時から行われる。

学位（修士）課程修了者は、計百九十二人（うち女子十五人）。内訳は法学一〇人（女子三人）▽文学三五人（六）▽経済学二八人▽商学九人（二）▽社会学一〇人（三）▽工学一二六人（一）。

また、博士課程後期単位修得者は、二十五人（うち女子四人）である。内訳は、法学六人▽文学一人（四）▽経済学二人▽商学一人▽社会学二人▽工学三人。

関大一高、一中でも

関大一高の卒業式は三月二十五日に行われ、四百二十四人が卒業した。

関大一中も三月十五日、卒業式を行い、百七十二人が卒業した。

技術系と女子が増加

好調だった就職戦線

貿易摩擦、行政改革etc……内外とも好材料が見出せない状況のもとで、太学卒業予定者の就職内定率は、一月末現在で九五・二％と、前年（九二・三％）を上回わる好成績をあげた。関係者としては、まずまずのでだいおらが春になった。

ことしの特徴は、エレクトロニクス時代を反映して、技術系学生に対する求人が大きく伸び、なかでも電気・電子が就職戦線のリーダー役を果たした。

一方、文科系学生は、コンピューター化による合理化、省力化のあおりを受けて、前年並みにとどまった。その中で、苦戦を予想された女子学生への求人が大幅に伸びるなど、女子の健闘が光った。

また、〝小さな政府〟を目指す行政改革論議に敏感に反応したのか、公務員の落ちこみが目立ったが、大手企業（従業員五百人以上）の採用意欲が高かった。

就職戦線は、恒定によって毎年十月解禁、企業の求人活動、学生の会社訪問が始まる。関大生の就職希望者は三千九百十四人。これに対して、求人件数は九千二百三十四社（二月末現在）を数えた。

情報調査をふくめサービス業、建設業の伸びが目立ち、大企業が約四分の一を占めた。本社所在地も広がり、東京企業が三割近くもふえている。

業種別では、証券業、運輸・通信業、教育、サービス業が伸び、製造業への就職は技術系の増加に対し、文科系はやや減少した。

女子学生に対する求人は、千五百八十三社を数え、前年より三百六十社余も増加、これまでの最高を記録した。就職先は、商業、教育、製造業の順で、二人に一人が大企業に決定、大卒女子社員に対する評価の高まりが見られる。

こうした好成績について、就職部、鉄井良男次長は、「ひとところ楽観ムードに包まれていたので、気分の引き締めと同時に、自分を安売りするなと、いましめてきたのがよかったのでしょう。社会人になれば、それぞれ職場に不平や不満が出てくるだろう。しかしそれは当然のことで、その不平、不満を克服してこそ前進があり、そこに安住していては成長は望めません。最初から適職が待っているわけではなく、三年、五年と経験を積んでいるうち、適職らしきものが見つかってくるものです。新しい職場で、じっくり腰を落として頑張ってほしいものです」と、はなむけのことばを贈っている。

七教授の〝大阪論〟開講

大阪府立文化情報センター

〝真理の討究　学の実化
たくいなき　此の学園〟

いつまでもなく本学の学歌の一節である。ここにうたわれている「学の実化」をめざして関西大学と大阪府立文化情報センターの共催で八文化セミナー「大阪論」が開かれることになった。

この文化セミナーは、大阪の歴史、文化、産業を広く府民に知ってもらおうとの目的で開かれるが大阪府立文化情報センターを会場として、きたる四月九日（金）を皮切りに六月四日（金）まで七回にわたって開講され、母校文・経済・社会各学部から七人の教授がそれぞれの分野から〝大阪〟を論ずる仕組みとなっている。

今回の文化セミナーでは長い歴史のなかに培われた大阪の内実を多角的にとらえるが、これによって大阪の全体像を浮き彫りにしたい。実はこの〝大阪論〟は関西大学で昭和五十五、六年度に学生を対象として開講され、三千五百名にのぼる受講生が集まる人気講義として好評を呼んだもので、各界からの注目を集め、要望にこたえるために計画された。

八文化セミナー「大阪論」への申しこみは往復はがきに住所・氏名、年齢を記入し、三月三十一日までに〒530大阪市北区中之島三丁目・住友中之島ビル5F　大阪府立文化情報センター宛。定員は三百名で、申しこみ者が多数の場合は抽せんとなる。受講料は無料。

4月から

テーマ	講師	日程
大阪の町人学者・山片蟠桃―その独創性について―	文学部教授 有坂　隆道	4月9日(金)
堂島米市場の変遷	経済学部教授 津川　正幸	4月16日(金)
大阪の文化と笑い ―漫才の笑いをめぐって―	社会学部教授 井上　宏	4月23日(金)
上町台地の史跡と遺跡 ―とくに「難波宮」について―	工学部教授 山田　幸一	5月7日(金)
近世浪速の学芸 ―町人の文学・大阪の漢学―	文学部教授 水田　紀久	5月14日(金)
戦国時代の堺	文学部教授 泉　澄一	5月21日(金)
日本経済の発展と大阪の中小企業	社会学部教授 上田　達三	6月4日(金)

関大人事

▽定年退職
文学部教授　齋井　義正
同　広瀬　捨三
同　見沢　直雄
社会学部教授　神先　秀雄
同　薄田　桂
同　友松　芳郎
工学部教授　大藤　能親
同　田中　郁雄
同　市田弥一郎
一高・一中教諭　水田　宮子
経済政治研主事　花田　実明
総務課主事補

雫の葦

この春、校友会は約五千名の新校友を迎える。新校友のみなさん「卒業・就職おめでとう」あわせて〝学の実化〟で社会に貢献する関大人として成功されるよう、今後の精進健闘を期待して祝辞としたい▼人はその職業が何であれ、働くことに自信と誇りと生き甲斐がもてれば、幸せといえるのだろうが、自信は、人類社会の進歩や幸福に、なにがしかのまっ当な寄与から生まれるものでなければなるまい。経済の高度成長期と共に増長した〝お金がすべての価値観〟は、仕事の使命感を希薄化し、政・財界の〝大物〟から美貌の女子行員にまで、サタンがのり移ったような功利打算の汚職を生んだ。当面の不況が汚染した価値観への反省には好機かもしれぬ▼話はそれたが、校友会では、会費納入の校友に洩れなく毎月一回発行の機関紙関大を届けている。その郵送分は約五万五千部。第三種郵便物の認可をうけており、一昨年末までは一部二十五円だった郵便料金が、昨年一月からは一率に一・六倍の四十円に値上げされたため、年間の郵送費は機関紙の製作費をはるかに上回わり、校友会にとっては巨額の負担増となっている▼それに加えて、この四月一日からは〝官業式合理化〟の押しつけで、第三種郵便物は発送者の手間が増えることになった。「宛名の郵便番号別に3ケタごと、また3ケタが同じでない物は、上2ケタごとに区分し、厚さ十センチに束ねて丈夫な紐で堅固にくくり、それぞれの束には郵便物の数と、郵便番号を明記した別紙を添付したうえ、午後三時までに大阪中郵へ差し出せ」という〝区分差し出し制度〟の実施である▼料金値上げを決めたと言い郵政当局は「業務の効率化」を口実にしていたが、郵便物自動区分機の開発ではなく、その仕事は差出人に差し戻すという旧態依然のオヤクニン風発想ノ　ともあれ、校友会では数百万円を投じて校友宛名簿の郵便番号別配列変えの作業中▼就職で住所移転も多い新校友諸氏には、新住所、勤め先と近況などを、帯封に印刷の十三ケタ数字（あなたの電算機番号）も記入して校友会事務局宛お知らせを。

就職先一覧

（2月末現在）

事業体名	計	文	工
松下電器産業	31	5	26
ジャスコ	29	29	0
国家公務員（中級）	27	21	6
大阪府教育委員会	25	20	5
ダイエー	24	24	0
日興証券	22	22	0
近畿相互銀行	21	21	0
シャープ	17	8	9
イズミヤ	17	17	0
大和証券	16	16	0
兵庫県庁	16	15	1
国税専門官	16	16	0
大阪府警察本部	16	15	1
三星堂	15	15	0
大阪市教育委員会	14	11	3
福徳相互銀行	14	14	0
大日本印刷	14	8	6
日本国有鉄道	13	3	10
日本電気	13	2	11
尼崎浪速信用金庫	13	13	0
西武百貨店	13	9	4
ワールド	12	12	0
ノエビア	12	10	2
電エンジニアリング	12	0	12
大阪公文数学研究会	12	12	0
NTN東洋ベアリング	12	8	4
日本通運	11	11	0
ニチイ	11	11	0
三洋電機	11	0	11
オービック	11	11	0
イトキン	11	10	1
積水ハウス	11	9	2
鐘紡	11	8	3
幸福相互銀行	11	11	0
鈴木自動車工業	11	7	4
ヤマハ発動機	10	10	0
山一証券	10	10	0
ハウス食品工業	10	10	0
南都銀行	10	10	0
大和銀行	10	10	0
松下電工	10	4	6
セントラルファイナンス	10	10	0
オリエントファイナンス	10	10	0
和光証券	10	10	0
ミドリ十字	10	8	2

関西大学校友会長　樫本信雄

激しい試験に合格し、あこがれの関大に入学してから四ヵ年、教育・研究に、また課外活動に精進し、剛健を旨とする関大の学風のもとに夢多き学生生活を終え、めでたく卒業された諸君に対し、満腔の祝意を表します。

いまや諸君は、さらに大学院に進学する者以外は、多くは就職し、社会人として自ら志すところに向って進まれることでしょうが、一国のできごとにも、私生活に直接響くものも多く、不況による物価高、失業等、諸君の前途は必ずしも平穏無事ではないでしょう。

しかし、いかなる事態にも適切に対処できる平素の鍛練が大切です。私は、諸君が、関大で体得した関大精神を発揮して勇往邁進されることを祈ってやみません。

校友会は会員相互の親睦を深め、母校の発展に寄与することを目的として設立されたものです。

関西大学学長　大西昭男

御卒業おめでとう、と心からお祝い申し上げます。と同時に、諸君をわが関西大学の校友としてお迎えすることを私もまた一校友として心から嬉しく思います。

おそらく諸君自身には、「学士」になった実感はあっても、「校友」になったという自覚はまだ生まれていないでしょう。いわば、いま生まれようとしている校友といったところでしょうか。ほんとうの校友と自他ともに呼べるようになるのには、相当の歳月が必要でしょう。いま各所に旅立って行く諸君の後ろ姿は、はじめは、けし粒のように小さくしか見えない。やがて、あそこに、ここに、と這（たくま）しくたのもしい姿が大きく幾つかクローズ・アップされて来る、その日が待たれます。

いまはただしゃにむに突き進むことです。ある禅の高僧の言葉を借りて、「驀直に去れ！」、とただこの一ことを餞けとしたい。

「驀直（ばくちょく）に去れ！」

いまはただしゃにむに突き進む

いまはただしゃにむに突き進む

いまはただしゃにむに突き進む

いまはただしゃにむに突き進む

いまはただしゃにむに突き進む

いまはただしゃにむに突き進む

いまはただしゃにむに突き進む

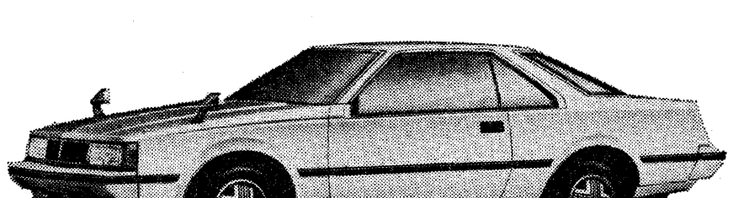
望遠鏡から顕微鏡まで
光学館
心斎橋店2階

メガネ大学堂
●京橋店 ●心斎橋店
●阪神百貨店 ●虹のまち店

カタノヨイ　カタノコラヌ　カタノクズレヌ　カタノ洋服店
最高のおくりものカタノ紳士服
お仕立券・お誂え券・カタノ洋服店
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通
電話〇六(231)〇五六五～七
大阪駅前店　第生命ビル
電話〇六(341)〇七九二
心斎橋店　ホリデイイン南2F
電話〇六(213)〇一海九五
近鉄百貨店特撰紳士服コーナー
上本町店・枚方店・奈良店

"ギフト最適"
明るさ、新しさ、豊かさを誇る
パース・カバン・ハンドバッグ専門卸商社
株式会社廣島屋
代表取締役社長　藏田廣造
（昭25学1経）
本社　〒541　大阪市東区博労町1-6
TEL 06-(261)-2431
営業所　大阪・東京

●サラリーマンの財産づくりに―
ダイワ財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●優とは別枠で 500万まで無税の特典
長い人生――頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

新登場 NEW CORONA スーパー・チェンジ 1500 1800 2000

コロナハードトップ1800EXサルーン

ソアラ・マークII・コロナ・コルサ
神戸トヨペット
〒652 神戸市兵庫区水木通2丁目1番1号 ☎576-5001
取締役社長 西林佐三郎

ダイヤモンドのことなら……
60年の信頼
心斎橋の輝く宝石"ツルヤ"で
お選び下さい
心斎橋
時計 宝石 眼鏡
ツルヤ
(06)211-1024

北から南から

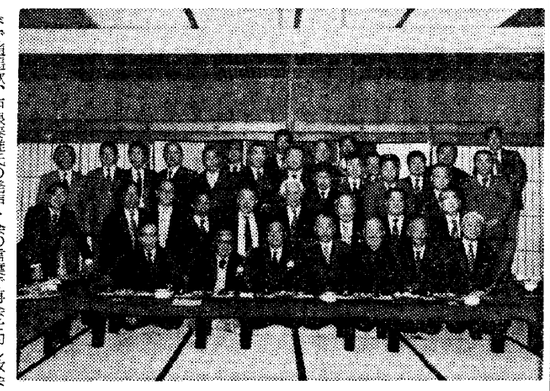
千葉・広島からも参集

雄吼会 意気大いに上がる

雄吼会（関大ボクシング部OB）は二月十三日、北区「茶苑」で第四回総会を開催。会員・稲野治兵衛氏（16大政）が昨秋、母校副理事長に就任したのを祝し、久井理事長、樫本校友会長、佐々木評議員会議長、元衆院議員の押谷富三長老、飯田正二元教授、桜田養教授、千葉から、広島から参集して総勢四十三名。

雄吼会会長でもある樫本信雄氏は、二月七日の代議員会で、六たび校友会会長に就任した報告と、稲野氏の法人副理事長就任に対し、会を代表して祝意を表明されるとともに、母校創立百周年に向って会長としてベストを尽くしたいと抱負をのべられた。

久井理事長は日本における大学の諸問題にふれ、母校創立百周年を前にして稲野副理事長の手腕に期待しているとのあいさつがあった。ここで稲野氏から謝辞があり、卒業後毎日新聞社で身につけた経験を、久井理事長のもとで皆さんとともに傾注してゆきたいとあいさつ。押谷長老の乾杯で開宴、出席者各自の現況を語り、雄弁会復活を熱っぽく論じられると意気大いにあがり、宮腰健司氏のリードで道頓堀、戸根泰雄氏の発声で万歳三唱、東浦常一副会長の閉会の言葉で再会を約し散会した。（倉永・岡田記）



雄吼会の総会

NHK関大会が発足

BKの15名でまずスタート

にぎわった京都支部総会

NHK大阪放送局に勤務する校友十五名が集まって、二月二十日「NHK関大会」の発足を正式に決めた。

十月二十六日にBKニュース（報道部）の九人が集まり、ささやかな"発会式"のリハーサルを行って以降、約四カ月で正式発会にこぎつけた。

関大出身者は、おおむね大阪放送局か、管内（近畿二府四県）の局に勤務しており、人事異動が全国規模のため、遠隔地勤務の者もあり、名簿、規約については、郵送のうえ、事後承諾を得ることになった。

おちこちより200名

京都支部の総会

新人の出席も多数

二月十四日（水）午後六時から京都駅前、タワーホテル八階の間で開催、これまでの常連に加え、新人の出席も多く、東京、大阪、神戸から参集を迎え、パーティーには家族の参加もあって二百名を超える大盛会であった。

総会は、和田常任幹事の司会で富田副支部長から開会、木下支部長のあいさつのち、議事に移り（議長・糸井幹事）、会務報告（近藤幹事長）、会計報告（田田会計幹事）、監査報告（倉賀会計監査）があった。

樫本校友会長、稲野法人副理事長にごあいさつ。

当日の決定では、名称は「NHK関大会」とし、初代会長には、現在NHK大阪放送局放送業務部長の佐伯建（27学二法）、幹事は庶務部次長の石井勇（37学二商）とすることに内定した。

なお、現在名簿作成中であるが、NHKに勤務する校友は約五十名の見込みである。（松見記）

当日は、校友会並びに大学の現状と、来るべき百周年記念事業計画の大綱にふれ、校友各位の協力を要望された。

記念撮影ののち、今枝徳蔵実行委員長（昭36学一法）の企画による盛大な懇親会は、和田常任幹事と、勝山副幹事長提供の麗人司会者のコンビですすめ、秦豊参議院議員のあいさつ、山中高吉、杉谷孝夫両府議の紹介後、山崎敬義神戸関大クラブ理事長の発声で乾杯して宴に入った。

キングレコード専属歌手、伊勢功一校友とそのバンドによる演奏の間、バイキング料理で懇親の友情の渦がまいた。約二時間の後、福引き、逍遥歌（片岡顧問）で名残をおしんで閉会した。

少数ながらも充実した集い

四条畷支部

四条畷支部（朝田相支部長）では、56年度総会を二月二十一日（日）午後二時半から、忍頂神社内忍ケ丘会館で開いた。参加者二十五名。

樫本校友会長の地元の支部であり、元市長三牧信知氏が八十四歳とも思えぬカクシャクぶりで出席。また、衆院議員北川石松氏（昭13二商）も来会され、少人数ながら充実した集まりであった。

朝田支部長が議長となって議事をすすめ、事業・会計の報告を了承。今後の支部活動を活発にする対策については、企画、組織の二部を設けて副支部長が分担することに賛同し、心の交流が大事であること、地域事情に密着した地域社会に貢献することでありたいとの声があった。

三牧元市長から「生活を明るく保つ」ために体験にもとづく健康法の講話があったが、同講師からお手数をかけました」。深々

残をおしんで閉会した。

当時は、学生の名はそらんじていたから、学部の間違いではなかろうか。（富田記）

とっておきの話

〝伜の晴れ姿〟

昭和三十年の卒業式のこと、九州からはるばる伜の晴れ姿を見にやってきた父親が、文学部事務室に愛想笑いを浮かべて入ってきた。「式が終わってもう一時間もたつのに、息子の行方がわからない。待ち合わせ場所の図書館前にくるよう、呼び出してもらいたい」

「ひょっとして、学生仲間で話しこんで、親父を迷子にしてしまったのでは」と、名前を聞いても記憶装置が作動しない。

そこで、問いつめられて、卒業名簿を改めて見直しても、名前は出てこない。学籍原簿をめくっても、該当者はない。いらいらしている父親に、「いましばらくお待ちを」とわびながらはて、どう調べたものか、と思案した。

念は念を入れて、入学試験のさいの合否判定書類を捜し出して目を皿にした。あったッ！

確かに、受験している。しかしそこには、はっきりと「不合格」の印判が押されていた。伜に託した父親の夢を打ち砕くにしのびない思いはしても、もはやいかとも思ったほど。父親は、頑として、「文学部に間違いない。現に、親子連れだって来阪、父母は二階というので、そこに座っていた」と、まるで卒業生の名前も把握していない事務室員の手落ちをなじるようなものいいだった。

そこで、事実、関大に入学し、卒業するまでの、伜の晴れ姿や事実を告げるしか道はない。

「四年前、受験はされていました。しかし……」途端に、父親の顔から血の気がスーッと引いて、蒼白。しばらくは、口もきけなかった。やがて、ぽつり

「そうでしたか」「いや、大へん

（年史資料編集室　木戸一郎）

は、忍ケ丘会館の所在地岡山から出土した〝銅鐸〟が、関西大学の考古学資料館に所蔵されているとのニュースで、それを証明する写真を見せられ、言いしれぬ感慨を深くした。

懇談会は恩師神社の御神酒で、同感然としたのであった。

奨学金10万円を寄贈

関大修士会 大学院生のために…

二月二十二日午後一時より関大会館貴賓室で、法人・大学より久井理事長、稲野副理事長、樫本校友会長、佐々木砂夫会長、泉本、藤井理事長に対して寄付金拾万円が手渡された。

この寄付金は、これまで緊急事態のさい資金援助する目的だったのを、一歩進めて、大学院生の研究奨励金とすることになった。

もともと、この寄付金は昭和五十二年修士会創立三十五周年記念総会で、大学院に学ぶ後輩院生たちの勉学を助けることを大きな目的として設立された修士会奨学金の一部で、運用は法人に任されてきた。佐々木会長が、関西大学に学んだころ、経済的理由から学問への志を遂成するために非常な労苦をされた経験からの発案で始まった。本学に学ぶ学生には日本育英会、関西大学奨学金などを受ける機会が与えられているが、学費支弁者が不慮の事故に遭遇されるなど不幸な事態に陥り至ったとき、必ずしも緊急の援助としての機能を十分に発揮出来ないうらみがある。このようなとき、後輩諸君に手を差し伸べようというのが修士会奨学金である。

この主旨に賛同の修士会員から寄せられた基金は、すでに百余万円にのぼっている。幸いにして修士会創立三十周年を迎える本年まで奨学金支出のケースは無かった。修士会では今後さらにこの基金の拡大をはかるとともに、奨学金の第二の使用目的として、在籍する大学院生の研究奨励金として

久井理事長に奨学金を寄贈する佐々木修士会長

検事正栄転の校友らに祝杯

二四六会

昭和24専一法・26学一法の同期会である二四六会では、会長西口照男君（大阪市土木協会専務）の世話で、二月十八日大阪市桜の宮職員会館で五十七年度総会を開いた。

高松市から三宅照春も出席して十五名。旧交を温めるとともに、このたび法務省異動で、函館地検検事正に栄転した小原照佳君の今後の活躍を祈念して祝杯を挙げた。

参加者つぎの通り。部長城、西口照男、今中昭介、栗田勇、長野直行、永田一、三嶋照、田村辰雄、井上昭二、中村平治、高杉照規、竹田操司、津田光三、安田昭二、森正俊。（副会長・森）

恩師高木先生を迎え盛大に

五七会総会

梅が香匂う二月十九日夜、大学卒業満三十年の記念すべき年に、恩師高木秀太先生を迎え、樫本校友会長を招いて第八回総会を、市立労働会館にて盛大に開催した。

集まった同窓は三十名余。経営者、学校長、トップ管理者など多士済々、実に和やかに諸報告や運営方法が議されて承認を得た。

高木教授は、関大唯一人の日本学術会議会員として頑張っておられ、昨今の南米（実に真夏）会議の印象を力強く語られ、彼の地に永住している関大生徒が、いかに高く評価され、信頼を受けているか、関大の名誉を高からしめたいくつかの話に感銘を深くした。

関大百周年を前にして、大学の国際的評価を高めるため、多くの校友の協力が必要なことをいまさらながら知り得た次第である。

年一回の会合によもやま話が咲き、定年間近い身を忘れ、大いに勇気鼓して生き抜く学友の力強さを目のあたりにして、本だ五七会寄与すべく、大学卒業五十年に向かって羽ばたくことを誓い合って、とっぷり暮れた森の宮をあとに帰路。

恩師のご健康を祈り、また来年も会おうとの約束を胸に秘めつつ……。（畑下記）

支部旗を新調

石川支部懇親会

石川県支部では二月六日夕、和倉温泉ホテル「なぎさ」で恒例の新年懇親会を開き、三十二名が参集して懇親の実をあげた。

昨年は十八年ぶりの豪雪のため中止となり、二年ぶりのせいか、参会者も一昨年を八名も上回り、盛況そのものであった。

今回は、本部に別注謹製した支部旗がセンターに掲げられ、全員が支部旗に向かって学歌斉唱、感激ひとしおであった。

たまたま隣室で、社員懇親会に来ていた某君がかけつけ、「私も関大だ」と言って合流したことはこの上ない喜びであった。（西盛記）

『永いあいだご苦労さまでした』

三月末に定年退職される教授は八人。あの激しかった学園紛争を経て大学再建に献身された日々、あるいは学部創設期のご努力――関大を愛し、関大生を育くまれた先生方に「ご苦労さまでした」とお礼を申しあげたい。おいそがしい中を、お願いして「追憶の記」を寄せていただいた。（順不同）

退職教職員「追憶の記」

『別れの会話』

廣瀬　捨三

広瀬教授

「もうお別れだね」

「そうだ。」

「これからどうするんだい。」

「今までの延長だよ。しかしもう宮仕えはしたくないね。水滸伝の宋江も朝廷に仕えては、その末路惨めなしだよ」

「しかし家の書物はどうするんだい。」

「私は一生本を買うことにかまけて、他の世俗のことはすべてしなかった。図書館で間に合わせばいいというものの、図書館の本はこんな本があるという、本の見本ぐらいにしか思わなかったからして、特に研究に必要なものはもちろん、そうでないものでも自費で求めた。おかげで住まいは、昭和十一年本学卒業した年に入居した借家のままで、この四十五年間を過した。今では家の中は本だらけになって、足の踏み場もない。しかしもう家どころか、その先のことを心配せねばならぬ年になったよ。南方熊楠先生（昭和十六年没）のお宅ではいまだに家人がその蔵書を守っておられるそうで、そうありたいものだと思っている。関西の新空港だのという、現世の計画が何んだか苦しいものに感ずるね」

「あまり悟り切らないで、大いに現世に意欲を持ってもらいたいね。」

「いや、それは大いにある。まだ勉学したいことは山ほどあるのだ。これが唯一の生き甲斐といえるだろう。チヨーサーの研究からトロイ戦争まで、辿りたいし、アーサー王伝説などとほこれから始めたいと、旭日の昇る意気込みだよ」

「まて、落日の輝きがあればいいとこだね。それにしても本学で、君の専門を続いてくれる者がなくて寂しいね。」

「いや、方々の大学に二三散らばっているよ。何もこの大学に限ってものことではなかろう。文学は徒党を組んでするものではないよ。永井荷風のいうように、子は三界の首枷（かせ）、弟子は月夜の提燈持ち、共に無きに如かずさ」。

「体を大事にな。」

「有難う。」

（昭和五七、三、一二）

日進月歩の目標を

田中　郁雄

田中教授

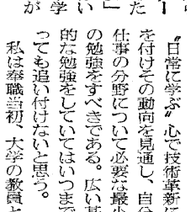
私は昭和三十九年十月から本校に奉職し、本年三月末定年退職するが、過ぎ去った十七年半を顧みて感無量なのはこの間の日進月歩の技術革新である。

私の専門は元来、強電「高電圧送配電関係」であったが、求人に来られた会社の社長の説明や卒研生の会社実習の話から、研究に金のかからない弱電「トランジスタ、IC、LSI、マイコン」へ移る②実施した結果は分析反省し、再び失敗しないよう次の計画を立案する。①②③を繰り返すデミングサークルにより未知のことが開発でき、製品の品質管理が進み歩留りが良くなり、会社に貢献できる。今では多くの会社がデミング賞を受け、それが今日の生産性向上のエースであるロボット導入を成功させて、生産性を向上させ、今の世界の注目を浴びている。

最後に日進月歩の技術革新に留意し、デミングサークルの回転に不断の努力を重ね、成功されることを期待する。

専門主義の虚像と実像

社会学部　友松　芳郎



友松教授

大きく食い違っている。これが、いまや、大衆化された大学の実態ではあろう。（特に文科系大学の）

専門主義は、たしかに、わが国大学の生命たる伝統である。しかし、今日、学部段階の専門教育をうけたからとて、その卒業者を、その道の専門家とは誰も認めていない。専門教育は、大学院に任せて、学部段階では、その専門の特色を生かしながらも、総合的で高度な教養教育をするという考え方を鮮明にすべき時期に立ち至っているのではなかろうか。大学大衆化の先進国アメリカでは、夙に、この方式に立ってきている。

文科系の学生を念頭においての話ではあるが、彼らのなかにはどの専門学部にでも、はいれさえすればよいといった意識の持ち主が多く、授業よりアルバイトやクラブ活動を優先化し、モラトリアムを楽しむ風潮をはびこらせている。また、企業サイドも、どの学部専攻ということにあまり拘泥しないで、パーソナリティーによって採用し、入社後、企業向きに再教育すればよいといった傾向である。他方、大学在学中、あるいは、大学へ進学せず、各種学校や専修学校で実学を志向する者が増えている。

こうして、大学は学生にとっては、もはや、専門の学理を深める場というよりは、単に、授業料を支払って学歴証明書を手に入れるところとなりつつある。これでは大学の専門教育というものが虚像に過ぎないものになっていくのではないか。大学教師のえがく専門主義のイメージと学生のそれとが

先輩の苦心を窺う

文学部　見次　直雄

見次教授

三十二年前、本学に勤務するようになっての第一印象は「随分きっちりした学校だな」であった。学費の納入としても期限の翌日になればもう受け取ってもらえないし、試験監督要領にしても実に抜け目のないもので、その後お手伝いに行くことになった阪大でも、本学に倣ったのではと思われる点もよくあった。その半面、外国語の時間割りにしても、学生の負担を十分に考えた配列に苦心が払われて、学生を締める一方で大学側でも最善の努力が傾注されていたのである。

本学内だけで見ているとあまりはっきりとはわからないが、他の大学へ行ってみて痛感することがある。それは教室の雰囲気である。私の場合でも、これが大学かというクラスに時々出くわしたのである。大学院を出て間のない若い同僚にそれをこぼすと「ここはまだマシな方ですよ」という意見も聞いたりした。そのお陰で何とか目下半年の定年退職も最好調で、私は本当に幸せ者であったと感謝している。昨今は会社でも再教育とか終年教育とか言われているが、"日常に学ぶ"心で技術革新に気を付けての動向を見通し、自分の仕事の分野について必要な最小限の勉強をすべきである。広い基礎的な勉強をしていてはいつまで経っても追い付けないと思う。

私は奉職当初、大学の教員として"教育と研究"が最も大切と思っていたが、終始それに専念できたのもまた幸せであった。それで今"教育と研究"の観点から感懐をまとめ記念の書を作っている。

奉職して間もない四十二年元旦付の"関大"一四〇号の"元旦の計"で「卒業して社会人になる時、在学中の勉強よりも会社での新しい仕事に対する熱意と根性の方が遥かに大切である」と述べた。会社で何か未知の仕事を始める時、①その関係資料、データを調査収集して計画立案する②それを経営者の気持ちに勇敢に実行に移す③実施した結果は分析反省し、再び失敗しないよう次の計画を立案する。①②③を繰り返すデミングサークルにより未知のことが開発でき、製品の品質管理が進み歩留りが良くなり、会社に貢献できる。今では多くの会社がデミング賞を受け、それが今日の生産性向上のエースであるロボット導入を成功させて、生産性を向上させ、今の世界の注目を浴びている。

工学部創設のころ

工学部　大藤　能親

広瀬教授

関西大学に工学部が創設された昭和三十三年春で、それから満二年後、私は三十五年から奉職の勉強をすべきである。広い基礎的な勉強をしていてはいつまで経っても追い付けないと思う。

私は奉職当初、大学の教員として"教育と研究"が最も大切と思っていたが、終始それに専念できたのもまた幸せであった。それで今"教育と研究"の観点から感懐をまとめ記念の書を作っている。

奉職して間もない四十二年元旦付の"関大"一四〇号の"元旦の計"で「卒業して社会人になる時、在学中の勉強よりも会社での新しい仕事に対する熱意と根性の方が遥かに大切である」と述べた。会社で何か未知の仕事を始める時、①その関係資料、データを調査収集して計画立案する②それを経営者の気持ちに勇敢に実行に移す③実施した結果は分析反省し、再び失敗しないよう次の計画を立案する。①②③を繰り返すデミングサークルにより未知のことが開発でき、製品の品質管理が進み歩留りが良くなり、会社に貢献できる。今では多くの会社がデミング賞を受け、それが今日の生産性向上のエースであるロボット導入を成功させて、生産性を向上させ、今の世界の注目を浴びている。

昭和三十九年、工学部が創設されてから、今日にいたった。三月末で停年になるが、二十二年の永い間寄稿のご厚情を賜りつつ勤めさせていただいたことに限りない感謝を申しあげたい。そして工学部も明春には創設二十五周年を迎え、次の発展への出発点になるわけで、まことに慶賀にたえない。本学を去るにあたり創設当初のことなど思い出を記すことにする。

工学部には現在十学科あるが、当初は天六学舎で機械、電気、化学、金属の四工学科で発足した。古い卒業生諸君はよく記憶と思うが、私の思い出も創設時代に関するものが多い。

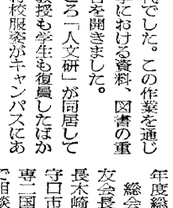
六学舎の地下室を改造した化学実験室で、施設が必ずしも今ほど万全とはいえなかったにもかかわらず、関大生としての誇りと自覚をもって真剣に実験に取り組み、教える者も教えられる者も、一体となって励んだことはいつまでも忘れることができない。

三十九年に現在の第四学舎の完成を機にわれわれ教養担当者は千里山に移り、以後一層密度の高い教育をすることができるようになった。その間、時代の要望に応えて三十五年管理工学科、三十八年機械工学第二学科、応用化学科、さらに四十二年には電子工学科、土木工学科と建築学科が増設され、今日まで多くの優れた人材が社会に巣立って行った。学部開設の樹木も今では緑いよいよ濃く見上げるほどの大木に成長し、本学も創立百周年をあと四年に控え、ますます活気に満ちてきている。

関西大学と校友会の一層の発展をお祈りし、筆を擱く。

目録三冊が記念碑

経済・政治研究所事務室　水田　宮子



水田さん

戦後間もない昭和二十三年から終始、図書とのつきあいで、地味な道を歩んできました。荒廃した図書館を再生せ、発展への基礎をつくりに参加できたことを、幸せに思っています。

学勤職員五人、皆アマチュアばかりで、何から手をつければいいのか、わからない状況でした。図書学の泰斗、天野敬太郎先生を迎えてから整理作業が本格化し、資料が充実していきました。

図書とカードを照合すると、三千冊以上も行方不明になっていて驚きました。戦時中、陸軍が図書館を接収し防空陣地を造っていたとかで、文学書を中心に紛失していました。天野先生が、大学の名にふさわしい図書館づくりに奔走されましたが、買いたくても、本が無い時代でした。この作業を通じて、大学における資料、図書の重要性に目を開きました。

そのころ「人文研」が同居しており、教授も学生も復員したばかりで、将校服姿がキャンパスにあふれていました。

七年間の嗣学生活のうちに司書の資格をとり、天六図書館に復職したのが昭和三十三年です。工学部設置基準にあわせる図書整備の時期で、和書の目録作成にいそしんだのです。

このあと本館で雑誌を担当、地下室にホコリをかぶって積み重ねられた古雑誌を一冊ずつ目を通して行った日々、まるで、クズ屋さんになったようでした。

経営研では、学際的研究が中心になっていて、これに対応して資料収集も広範囲になりました。豊富な資料を館長士に防空陣地を造っていたとかで、文学書を中心に紛失していました。天野先生が、大学の名にふさわしい図書館づくりに奔走されましたが、買いたくても、本が無い時代でした。この作業を通じて、大学における資料、図書の重要性に目を開きました。

そのころ「人文研」が同居しており、教授も学生も復員したばかりで、将校服姿がキャンパスにあふれていました。

七年間の嗣学生活のうちに司書の資格をとり、天六図書館に復職したのが昭和三十三年です。工学部設置基準にあわせる図書整備の時期で、和書の目録作成にいそしんだのです。

このあと本館で雑誌を担当、地下室にホコリをかぶって積み重ねられた古雑誌を一冊ずつ目を通して行った日々、まるで、クズ屋さんになったようでした。

経営研では、学際的研究が中心になっていて、これに対応して資料収集も広範囲になりました。豊富な資料を館長士に防空陣地を造っていたとかで、文学書を中心に紛失していました。天野先生が、大学の名にふさわしい図書館づくりに奔走されましたが、買いたくても、本が

新企画で大いに盛り上がる

守口支部総会

校友会守口支部（植村益久支部長）は三月四日、守口玉姫殿に守口市内に在住または在職する校友約九十名が集まり、盛大に五十六年度総会を開いた。

総会では、植村支部長、樫本校友会長のあいさつに続き、守口市長木崎正隆氏（支部顧問）、校友守口市議を代表して山田昭和（24専二国）氏らの祝辞があり、ついで相談役北村正治氏（13大法）の音頭で乾杯した。

懇親会では久しぶりの再会を喜びあい、旧交を温めあう中を、今回から趣向を変え、さらに一分間スピーチ、カラオケ大会、ジャンボ福引き大会も準備され、大いに盛り上がりを見せた。

なかでも、福引きコーナーには市内の校友から寄せられた洋服タンス、家電製品、ウイスキーその他豪華景品が並べられるなど、従来の総会にない会場設営で、親みやすい雰囲気のもとに進められた。

福引きの結果、特賞の洋服ダンスは、四十五年卒の若手校友春名英夫君（守口市役所勤務）が引き当て、「どうして持って帰ろうか」と困ったような嬉しいような様子に、会場は〝爆笑の渦〟、やんやの喝采を浴びた。（吉見記）

＊ビューティースリム茶！
特に肥満体質の方に最適
冷やして飲んでも最高です。
＊中華・和・洋食等どんな料理にも合い、赤ちゃんからお年寄までおいしくお飲みいただけます。
話題の喫茶減量法
美容健康茶
特選箱新発売！
味はマイルド 中国直輸入
ティーバッグ20袋入 800円
特選箱50袋入 2,000円
特選箱55g入 2,000円
特選お徳用箱150g入 3,000円
特選マイルド 1,500円 300g入
中國皇茶 楊貴妃
●お求めは全国デパート・薬局・茶店・茶舗・スーパーでどうぞ。
●試供品をお送りします。弊社までハガキでお申込みください。
お申込み先……中国直輸入総発売元 株式会社タムラ 試供品請求券係
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101㈹

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士 鈴木武夫
弁理士 鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
（四ツ橋交差点西角 地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話 大阪〇六（五三一）七四三一～七四三五

TOMORROW! たしかな明日のために
住友信託銀行
財産づくりの早道！
住友の財産形成信託
●㊫300万円と合わせて800万円まで非課税。
●積立金は1,000円単位でしかも給料・ボーナスから天引きです。
●積立金は元金保証の住友の金銭信託・貸付信託を中心に運用しますから安全で高利回りです。
たしかな明日のために……
幅広い業務をお役立てください。
住友の貸付信託・住友のルック（海外旅行）信託
住友の金銭信託・住友の交通安全信託
普通預金・通知預金・定期預金
不動産の売買の仲介・株式代理売買など
●くわしい資料をお送りします。
下記の住友信託銀行へご請求ください。
本店営業部
大阪市東区北浜5丁目（新住友ビル）
電話(06)220-2121(代) 郵便番号541

私たちの仕事に〝卒業〟はありません。
快適環境の創造
昭三専法卒 戸澤 武
三和シヤッター工業株式会社
本社／〒160 東京都新宿区西新宿2-1-1（新宿三井ビル44階）
☎03(346)3011(代表)

濱本工運株式会社
濱本工機株式会社
取締役社長 濱本正吉
（昭和14年大法卒）
本社・兵庫県尼崎市西本町3丁目1番地
電話 大阪412－2161～3
鋼管支社 尼崎市東高須町1 電話 大阪413－2181
神崎営業所 尼崎市扶桑町2－1 電話 大阪401－4975
南浜営業所 尼崎市東海岸町 電話 大阪409－1641
滋賀営業所 滋賀県甲賀郡甲西町正福寺榎15 電話 07487－2－1901～2

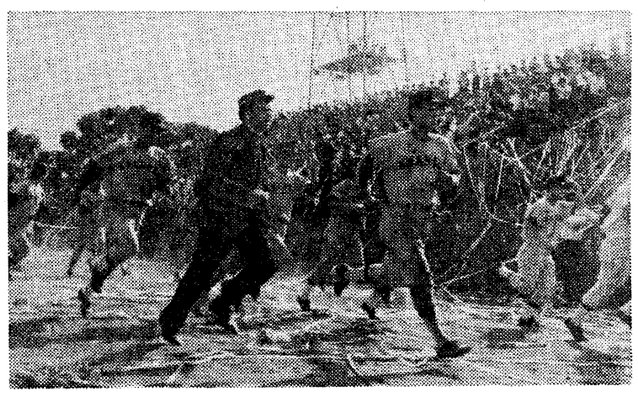
自然と何かを始めよう。
世界の街を、大自然の中を、快適ライフの輪をひろげながら走りつづけるツバメ自転車。日本ではじめてリムを開発した信頼あるアラヤの技術が、いま自然と健康を愛する多くの人たちに親しまれています。
ツバメ自転車
新家工業株式会社
ARAYA
大阪市西淀川区竹島1－1
TEL 06-474-1313(代表)

関西学生野球連盟が発足

4月3日 新生の第一戦！

新リーグ 関・関・同・立・近・京

「いったい関大は、どこへ行くのか」――18万校友をやきもきさせた関西学生野球騒動は、「関関同立近京」による新リーグ「関関戦」も永続が決まり、関大野球部の栄光の歴史がつづられる。四月三日、日生球場で、関大は立命チームと第一戦をたたかう。オール関大人の応援が望まれる。



昭和42年春季リーグで関大、立命を破り優勝の瞬間（西京極球場）

解体への背景

「連合」解体、「関六」分裂、一もつきまとう。地底深くたまっていたエネルギーが、一気に爆発、噴火するのに似ている。事実、経過は、別掲の一覧表の通りだが、「旧関六復活」を望む声は、昭和37年に「関西大学野球連合」が発足したとき、既にあがっていた。「連合」は、33年に結成された「近畿大学野球連盟」（昭24）、「京滋大学野球連盟」（昭31）、「阪神大学野球連盟」（昭31）の三リーグと、戦前派の「関六」が、大同団結して発足した。「関西一円の大学野球発展のため」という大義名分であった。

新旧四リーグは、「関六」を頂点とするピラミッド型構成で、入れ替え制を採用した。「関六」は「最強の六校をもって構成」と規約改正され、下部リーグにとって、「関六入り」は大きな目標となった。

実力主義の刺激がきすぎて、逆効果も現われてきた。すなわち、勝つことだけに熱中、学生野球らしさが失われていった。選手省・野球部前監督らは、「勝つための場あたり的な野球をするようになり、せめて5位にとどまれ、とハッパをかける始末」と反省する。こうした声は、旧「関六」関係者の胸の奥で、くすぶり続けた。しかし、表面に噴き出すまでにはならなかった。敗軍の将が、それを口にしては、繰り言とうけとられないからだ。

不協和音を奏でる要素は、ほかにもあった。リーグ運営上の問題である。日程表を作り、試合を消化するだけなら簡単だ。そこに至るまでの球場の確保、審判員の動員などのウエートは大きい。縁の下の力持ち的存在、パイ・プレーヤーたちは、すべてOBの手弁当主義によってまかなわれ、リーグを支えている。

「入れ替え制」によって、のしあがってくる新興チームにとって、OB層の薄さも手伝って、協力度に差が生まれる。シーズンごとに、ふれが変わることが、拍車をかける。「関六」創設以来、維持・発展に努めてきた伝統校との間にぎくしゃくした感情が増幅されるのも無理からぬ話である。

ピラミッドから一列に

こうした背景のなかで、昨年秋季リーグで立命館が、関六から陥落してしまった。これを契機に、「入れ替え制」に対する不協和音は一段と高まり、地鳴りに似た響きを持つに至った。それが、形となって現われたのは、「連合」理事長、黒田脩氏（同志社大OB）の辞意表明である（56年12月14日）。

「連合」会長、理事長は、規約によって、「関六」会長、理事長が、それぞれ兼務することになっている。辞任理由は、「関六」運営が続いてはいて、加盟四十八大学の「連合」下部組織にまで、すべて責任を負いかねる、というものだった。この黒田提案を、「関六」理事会でもはかられ、「やむを得ない」と了承されていた。しかし理事会メンバーは、57年に立命館と京都産業大が入れ替わり、改めて一月十九日、「連合理事長退任」と「入れ替え制廃止」を落り、方針は再確認された。

こうして、翌二十日、「連合」は解体する。これまで四リーグを結んでいた糸は、プツンと切れ、それぞれのリーグが独立の道を歩み、縦の関係から横一列に並ぶことになった。

思わくを秘めながら、ここまでは比較的すんなりと運んだ。あとは、春季リーグ戦幕を前に、時間的制約を受けながらの事態収拾策の模索が続いた。「関六」幾留香寛は、「連合」が解体したとのち、自紙に戻して「再編成」を主張した。双方とも譲らず3対3のデッドロックに乗り上げた。ここで水ぶくれ、再開すると、関関近は、「現六校プラス・アルファーの言見には、運営上からも賛成しかねる。残念ながら脱退せざるを得ない」旨を通告した。

3チームが抜ければ、リーグ戦は不可能となり、事実上「関六」は空中分解した。これを「分裂」あるいは「解散」と呼ばず「解体」というのは、規約そのものに「関関同立」は、新しい事態のもとで、「六チームによる最善のリーグ編成は、いかにあるべきか」意見を交換した。その結果、近大の過去二十年間の実績と、リーグ運営面での協力度が高く評価された。これに旧関六メンバーの京大に参加を要請、両チームとも快諾した。〝組閣〟作業は終わり、二月二十四日、「関西学生野球連盟」結成の宣言となった。

これより先、大商大、京産大は大阪学院大、大経大、神院大、竜谷大とともに新リーグ旗あげを行い「関六」の継承権をうたった。

連合解体による四リーグ並列の構想はくずれ、ヒョウタンから駒の格好で、関西の大学野球は五リーグになった。それは、たまりにたまったエネルギー爆発による〝新山〟の誕生に似ている。またかすかな不安を感じる向きもあるようだが、それぞれのリーグが新たな道を歩むことになった。

選手、OBの相互交歓を

植野教授

関西学生野球連盟副会長
関大野球部長
植野　郁太
（商学部教授）

大学野球は、現役選手のプレーと、それを後ろで支えるOBの力球環境を誠実に履行できるものでなければならない。

選手、OBの相互交歓を、関関同立の一体感を、ぜひ、実現させたい。

校友のみなさんには、いろいろご心配をかけましたが、関大野球部と新リーグの発展をあたたかく見守り、応援していただきたい。

関西学生野球連盟誕生の経過

6年　関西六大学野球連盟結成。関大、関学、同志社、立命館、京大、神戸商大（現神戸大）が加盟。
37年　関西大学野球連合発足。入れ替え戦制度導入。「関六」を頂点に近畿、京滋、阪神の3リーグが大同団結。関六最下位チームと、3リーグの覇者が入れ替え戦。
37年　春季、神大が陥落。
37年　秋季、京大が陥落。
56年　春季、関学が大経大を破り復帰。「関関同立」がそろう。
56年　秋季、立命館が敗れ陥落。
56年11.関六理事会、入れ替え戦廃止の動きが表面化。
12.14　関西大学野球連合理事会で、黒田脩理事長（同大）が辞意表明。
12.16　関六理事会、連合解体後の再編問題討議。
57年1.19　関六理事会、連合解体案を再確認。新理事（京都産業大）も賛成。
1.20　連合理事会で連合解体と入れ替え戦廃止を決定。関六、近畿、京滋、阪神の4リーグは独立、並列となる。
1.22　黒田・前連合理事長が、記者会見で、新リーグ構想を「関六を母体にし、2校加えてもよい」と発言。「関7」「関8」論起こる。
1.23　関六理事会で黒田理事長は、新リーグ構想発言につき「個人的見解と前置きした」と釈明。
2.1　関六理事会で、再編問題討議。結論出ず、宿題とする。
2.9　関六理事会で、黒田理事長提案の「現6校プラス・アルファー」を大商大、京産大は支持。関大、関学、近大は「白紙に戻し再編」を主張。3対3で調整がつかず、関関近はリーグ脱退、「関六」は解体。
2.15　立命館が京滋リーグ脱退。大商大京産大を軸に大院大、神院大、大経大、竜谷大で新リーグ結成。「関六」再発足を発表。会長に谷岡太郎（大商大学長）、理事長に竹内啓（大院大野球部長）を選出。
2.16　京大、京滋リーグ脱退。
2.17　「関関グループ」、「関六」と近畿、京滋、阪神の3連盟代表が5者会議。それぞれ独立し、5リーグ並列を確認。「関西大学野球連絡協議会（仮称）をつくり、日本選手権大会出場ワクの拡大要望を決定。
2.23　大商大グループは当分の間「関六」の名称を継承すると表明。
2.24　関関同立近京で「関西学生野球連盟」結成。会長に城崎進（関学学長・兼野球部長）、副会長に植野郁太（関大商学部教授・野球部長）、理事長に三輪振松（関学OB）を選出。
2.26　5リーグ代表が初会合。「関西学生野球連盟」と「関六」が、学生野球発展のため協力を確認。
3.3　「関西学生野球連盟」理事会、春季リーグ戦日程を発表。4月3日、春季リーグ、日生球場で開幕。立命一関大は第2試合。関大一関学は5月2、3日、日生球場。
3.16　全日本大学野球連盟理事会で、関西5リーグを承認。大学選手権出場校は従来通り1校と決定。

激震で生まれた新リーグ

春季リーグ開幕を前に、時間的制約を受けながらの事態収拾策の模索が続いた。「関六」幾留香寛は、「連合」が解体したとのち、自紙に戻して「再編成」についてスパッと結論を出すに至らず、各チームの宿題となった。

九日の理事会では、誰も沈黙、重苦しい雰囲気に包まれた。危機感を持つ大商大、京産大は、あくまでも黒田提案の「現六校を母体にプラス・アルファー論」に固執した。片や、関関近は「連合が解体したとのち、自紙に戻して再編成」を主張した。双方とも譲らず3対3のデッドロックに乗り上げた。ここで水ぶくれ、再開すると、関関近は、「現六校プラス・アルファーの言見には、運営上からも賛成しかねる。残念ながら脱退せざるを得ない」旨を通告した。

3チームが抜ければ、リーグ戦は不可能となり、事実上「関六」は空中分解した。これを「分裂」あるいは「解散」と呼ばず「解体」というのは、規約そのものに「関関同立」は、新しい事態のもとで、「六チームによる最善のリーグ編成は、いかにあるべきか」意見を交換した。その結果、近大の過去二十年間の実績と、リーグ運営面での協力度が高く評価された。これに旧関六メンバーの京大に参加を要請、両チームとも快諾した。〝組閣〟作業は終わり、二月二十四日、「関西学生野球連盟」結成の宣言となった。

これより先、大商大、京産大は大阪学院大、大経大、神院大、竜谷大とともに新リーグ旗あげを行い「関六」の継承権をうたった。

連合解体による四リーグ並列の構想はくずれ、ヒョウタンから駒の格好で、関西の大学野球は五リーグになった。それは、たまりにたまったエネルギー爆発による〝新山〟の誕生に似ている。またかすかな不安を感じる向きもあるようだが、それぞれのリーグが新たな道を歩むことになった。

ずばり優勝を狙う

木村監督、久保主将が抱負

一日から十日間、高知県・安芸キャンプを張った野球部七十人はシーズン・インを前に調整中。

木村慶治監督は、今回の騒ぎについて「現役選手にかわれ、と思ってやっていることで、心配するな」といい続けてきたけれど、選手の間に動揺は起こらなかったという。

「入れ替え戦廃止で、選手に甘えが出てくるのではないか、ちょっぴり気がかりだが、新リーグの首途だから、いい成績を残したい」と抱負を語った。

また、久保勝三主将（商4）は「新メンバーになり、当初はAクラス入りを目標にしていたが、合宿で練習量を積んだ結果、ずばり優勝をねらえる、と自信をもった」と、心強い。

早瀬万豊投手らレギュラー六人が卒業するので、戦力ダウンが気遣われたが、甲子園経験を持ち、昨年春秋六勝をあげたエース萩原健吾投手（東海大姫路高）を軸に、チームづくりが進んでいる。四国銀行とのオープン戦は3―3で引きわけ、これから松下電器、日本生命わけ、これから松下電器、ノンプロの強豪や東芝と計十二試合を消化して、リーグ開幕に臨む。

応援団新役員決る

五十七年度の応援団本部新旧幹部交代式ならびに新役員研修会は、二月二十六日午後六時から千日前「味園」で行われ、樫本校友会長、片岡千成会長、北尾体育OB会副会長をはじめ、顧問教授、学生主任教授、体育会本部現役学生などの激励を受けた。

なお本年度応援団は、団歌に「一九三一年春四月」とあるように、創設されて、本年は六十年を迎えることになる。

来る六月二十四日午後六時から、毎日ホールで行う記念祭行事に向けて、新役員の力強い挨拶が続いた。

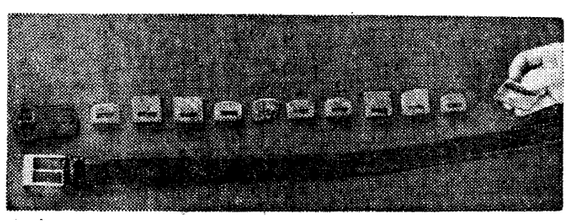
新役員は次の通りである。

▽団長　菅木功昌（社3）▽副団長　伊藤正樹（法3）田中英保（文3）▽総務部長・振興部長　山下正樹（商3）▽渉外部長　本貫志（社3）▽吹奏楽部長　松浦寛（社3）▽バトン部長　秋水昌子（文2）▽吹奏楽副部長　付上武男（工3）▽吹奏楽部指揮　井澤大助（経3）▽同渉外　赤松志郎（商3）▽同会計　清水悟（法3）▽同企画・ドラムメジャー　宮下勝清（経3）▽コンサートマスター　奥本敏（法3）▽金管セクションリーダー　中村嘉成（工3）▽木管セクションリーダー　林睦（工3）▽吹奏楽管理　山中守剛（工3）▽同　谷崎康子（文3）▽ライブラリー　林冨美子（文3）▽庶務　岡村美奈（文3）▽OB連絡　山下貴美子（文3）▽情宣　徳山貞美（文3）▽連盟役員　南雅則（文3）

純銀製の帯金具

伽山遺跡から発掘

関大トリオ　古代史の扉開く



伽山遺跡から出土した純銀の「銙帯」（毎日新聞社提供）

山本　彰技師

井藤　徹係長

上田　睦君

大阪府南河内郡太子町。被葬天皇陵、聖徳太子、推古天皇らの墳墓が点在し「王陵の谷」といわれる磯長谷の伽山（とぎやま）遺跡から、帯金具（ベルト）が出た。「銙帯」（かたい）とよばれ、当時の貴人の官位を示す装身具で、これほど完全な純銀製はわが国初の出土品。

この古代史に新しい一字を加えた発見の背後に、関大トリオがいた。府庁旁麗委ではこの仲間たちの活躍に、今熱いまなざしを注いでいる。

発見者の山本彰技師（三七）＝52学一史＝は、高松塚壁画などで全日本の注目を浴びた網干教室の出身。関大一高・史学科の純粋の関大マン。父君像雄氏も予科・法学部（23大法）、応援団出身という関大ファミリー。

現地で竹ベラで表土をそぎながら銙帯十二点を掘り出した上田睦君（三）は現役史学科三回生。文化財発掘の総指揮官は、府教委文化財保護課の井藤徹記念事業係長（末永数室、40学一史）。現地からの電話を受け、直ちに作業中止の指令を出し、奈良国立文化財研究所に材質分析を依頼して純銀製と確認した。

こうした末永・網干教室出身の母校トリオの連係プレイが、千二百年眠っていた古代史にライトをあてたのである。

井藤係長を訪ねてみた。

「係員は二十五人。府下の現場へ行っているのが二十二人。作業員は二、三百人おりますよ。係員にはポケットベルを持たせておりいつでも連絡がとれます」

話のあい間に電話が次々とかかってくる。その先をまくり上げたスポーツシャツ。たくましい腕と大い指が受話器にのびて、部屋中にひびく大きい声でテキパキと指示をする。寝足にスリッパ。活力が溢れている。「励むは一途研鑽の日日を楽しみ寝まじ……」。後ろ姿から学歌の一節がふと脳裏によみがえった。（大阪府統計課、景田康視＝29学二新）

妙高のスキー実習

文学部教授　伴　義孝

毎年二月末から三月上旬にかけて、関大のゼッケンが新潟県・妙高高原池の平スキー場を賑わす。関大の体育授業スキー・コースは二十数年来当地で実習を続けてきた。最近は一般学生や教職員を対象にしたスポーツセミナー・スキーの部も妙高で開催される。教員組合のスキー・レクリエーションも開かれる。一シーズン四百人もの関大のスキーヤーがくりこむ。

いまでは地元の人々が心待ちに出迎えてくれる。やあ関大さんですね、と親しげだ。池の平のゲレンデでは過去六千人以上のスキーヤーが関大のゼッケンをつけて滑ったことになる。

スキー実習の授業は三泊四日の日程でかなりの強行軍だ。七時起床、実習開始九時半、午前中二時間半滑る。午後も同様で、夜は七時半より二時間の講義。ぴっしり詰ったスケジュールだが、学生は弱音を吐かない。単位がかかっているからだろうか。初心者は緊張の連続で、経験者はいま一つ上手になろうと熱意ところではないようだ。しかし就寝前には金具グッタリということになる。

遅刻妙高山の偉容に勇気づけられ、野尻湖をとりまく山波の美しさに新たに活力を呼びさまされる。

影潜めたバンカラ

二十数年来といえば、エピソードも数々ある。近頃の関大生はスマートになったね、が地元の評。ひと昔前までは、禁止のはずのアレやコレやもどこ吹く風と、持ち金全部を叩いてスッカラカンという学生も多くいた。実習後帰りの汽車賃かせぎのため、町家の屋根の雪おろし、旅館の下働きやらで十日も拘留される猛者がいた。

バンカラが影を潜めた。ちょっぴりさびしいとも地元の人々は言う。だが、関大だけじゃない。どこの大学も一緒だね、と妙に慰められると、コチラも変に考えてしまう。

実習の間、婚姻式や学歌斉唱は苦笑いあり、テレかくしあり、ガヤガヤゾワゾワ何んともキコチない。一変して学子式の学歌はまさに斉唱になる。しかも元気はつらつ。これは何が物語るのだろうか。

池の平は全国的にも雪の深い所。春スキーでも「雪」は安心。

ここ当分毎年関大のスキーは、授業やセミナー、そして教員組合のスキーと二週間以上地元の人々とお付き合いをすることになりそうだ。

スキー・セミナーでやってきた四回生は、卒業後も参加する方法はないかと、いたってお気に入り。授業でやってきた連中がその後グループでやってきて、地元の人とも更に親交を重ねることもよくある。日頃関大のキャンパスであまりお目にかからない先生がゼミ旅行でスキーを楽しんでいる光景にも行きあたる。「自然の秀麗」関大の妙高臨時キャンパスは大変賑やかである。十年後の地元の関大評はどうなるか楽しみである。

校友の応援を

輝やかしい伝統を再び

マスコミ・世論の批判を受けながらも、そこは大学人の良識と、スポーツマンシップによって、騒ぎは一応おさまった。

「いま、胸つき八丁をやっと越えたところです。これから、またけわしい道が続きます。その覚悟で前進します。何しろ運命共同体ですから」と、関大野球人は決意を語る。日本選手権制覇2回の輝やかしい記録を持つ関大野球部は、関西学生野球の看板であり、重鎮であることは、自他ともに認める。それだけに、新リーグで果たさねばならぬ責任も重く大きい。

何かにつけ、東京六大学リーグと比較の対象になり、関西の大学野球の低迷ぶりを指摘される。ここに至るまでには、諸条件が積み重なってきた。「東西比較」をするなら、神宮球場を中心に、同心円で集う東京に比べて、フランチャイズ球場を持たない関西は、京阪神にメンバーが分散、球場を渡り歩かねばならぬ。かって加えて入れ替え制によって、伝統カードが消え、ファンにとって魅力が失せたこともあげられる。さらに、選手層の確保もむずかしくなってきた。

難点は、いくつもあげられる。しかし、少なくともその一つ、入れ替え制問題は解決をみた。あとは、伝統ある六大学が「関関戦」を中心に、いかに人気を盛りあげるかにかかっている。

「球場に関古鳥が鳴いている状態では、選手もプレーに力が入らない。学友も、校友も、ぜひ球場に足を運んで、応援して欲しいものです」野球部関係者の切なる願いである。

誠之館の増築竣工

福利厚生施設の整備なる

千里山キャンパスの福利厚生施設の拡充整備をはかるため、昨年八月から誠之館一号館南棟の増改築工事が続けられていたが、三月二十日に予定どおり竣工した。

この誠之館一号館南棟は、営業組合による本部食堂、書籍部、購買部などがあるが、今回の増改築によって、一、五五〇平方㍍の増床となり、学生待望の書籍部店舗は三倍に増強、三三〇平方㍍の店舗に七万冊の書籍が並ぶことになる。また本部食堂も席の増設はせず増床のみでゆとりのある客席をめざして整備されたことになる。また、誠之館一号館二階談話室も本来の目的どおり、学生のための多目的空間として復元整備がはかられ、他の学舎にある支部食堂や喫茶コーナー等と合わせて、目標とした千平方㍍の総規模をほぼ達成したことになる。

この拡充整備のなった新施設は四月から一斉に営業が開始され、新学期の教科書類もこの施設の中で販売される。

同期会、同窓会、宿泊、大阪から一番近い温泉郷、同窓に特別割引
創業300年・元三日市本陣
錦溪温泉 油屋
山田　清（S19大法）
南海高野線三日市町下車スグ
TEL0721―63―2356・2085

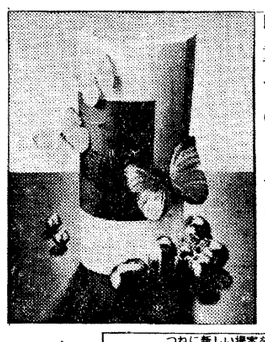
商標 日目 登録
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13―28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話 631―6565
641―1666(代)
641―6565
山本雅巳
（昭和53年大法卒）
特別割引券 関大 ㊙

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
関西店　阪急三番街/ウメダ地下センター/阪急32番街/ウピオ阪急/難波近鉄筋/ミナミ地下センター/南OSプラザ/近鉄難波/天王寺店/府道茨木警察署北/タカツキ松原店/高槻市駅前/阪急西宮能勢口駅前/阪道171号線西宮門戸陸橋西/阪急三宮駅西口/神戸ポートアイランドダイエー住吉下
東京店　有楽町/日比谷/渋谷/池袋/錦糸町/恵比寿/新宿/青梅寺
川崎店　関田尾モアーズ　横浜店　ヨコハマルミネ
浦和店　浦和伊勢丹
千葉店　千葉セントラルプラザ/イトーヨーカドー津田沼店
仙台店　仙台ジャスコシティ　札幌店　丸井今井札幌
浜松店　松菱　博多店　西鉄天神ビル

運転免許は校友がお世話する
〝大阪鶴見の〟
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2―13
〒538 TEL(06)912―7171
担当 太田清太郎(昭29.学2法)
優待証 関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

岡山建設株式会社
代表取締役　岡本新作
取締役　木村勝重
監査役　小林正立
本社　大阪市東区北久太郎町5丁目22
〒541　電話大阪(06)251―5551(代)
豊岡営業所　豊岡市九日市下町字青屋207―1
〒668　電話(07962)3―1594
泉北営業所　大阪府堺市栂361―1
〒590-01　電話(0722)91―9621番・9622番

営業科目
化学陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・造園工事）
公害防止機器並に装置
貸ビル・貸マンション
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区西天満六―八―二　ヤノシゲビル
電話(364)一〇五一番(代表)

企画から印刷まで
躍進する印刷の東洋紙業

印刷の果たす役割のますます重要となる今日、東洋紙業はつねに新時代の知識・技術の開発と導入につとめ、みなさまのご要望におこたえすべく、日夜研鑽にはげんでいます。
つねに新しい提案を――〝考える印刷〟を使命とします
東洋紙業株式会社
本社：大阪市浪速区芦原1―3　☎(06)568-0011(大代表)〒556
東京支社：東京都品川区南品川6―1　☎(03)474-3251(代表)〒140
工場：関西/芦原、平野、美原、東大阪　関東/品川、横浜、王子
営業所：札幌、広島、九州
営業品目：商業印刷、出版印刷、ビジネスフォーム印刷、各種紙器

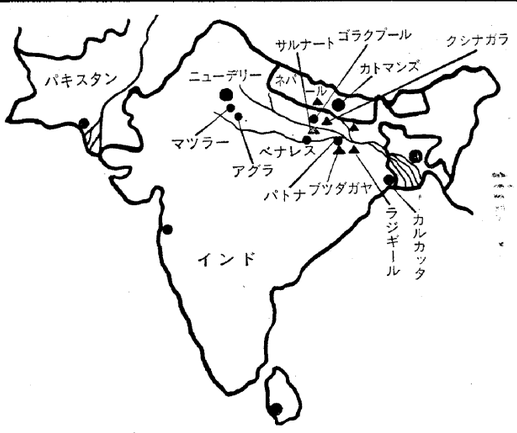
インドの四大仏跡を訪ねて（上）

文学部教授　網干善教

アジアにおける考古学的遺跡と仏教遺跡を探求しようと志し、旅をはじめてから約十年、十六回目になる。イスラム教徒やキリスト教徒がそれぞれの聖地を巡拝することを願っているのと同じように、仏教徒である私も、インドに起り、パキスタンから中国、朝鮮を経て、わが国にもたらされた大乗仏教（北伝仏教）の代表的な聖地を訪ねたいことは念願であった。そうした目的を果たすため、こんどの旅を計画し実行してきたが、それはあまりにも広大な地域であり、厳しい自然条件であった。しかし可能な限り、多くの遺跡を巡ることを希望した。

四大仏跡をめぐる

今年一月は、大阪伊丹空港を出発し、マニラ、バンコクを経由して、カルカッタにいたり、インド、ネパール国にまたがる四大仏跡を訪ねることができた。



四大仏跡とは釈迦の誕生地であるネパール国のルンヴィニ、成道の地であるインド国ブッダガヤ、初転法輪の地であるサルナート、そして入滅（涅槃）の地であるクシナガラをいう。

今回はその四大仏跡とその周辺にある仏教遺跡、さらにヒンズー教やジャイナ教、イスラム教などにかかわる遺跡と博物館などを訪ねた。

コースはカルカッタでインドに入国、先ずカルカッタの国立博物館及びヒンズー教のカリガート寺院、ジャイナ寺院を見学、奈路ガンジス川の中流域の都市パトナへ。パトナではガンジス川からその支流ガンダク川を船で渡り、ウアイシャリに行き、阿育王の碑の立つ仏教遺跡を見学。さらにパトナからナーランダに行く。ここは古代マガダ国の首都であったラジギール（ラージャグリハ）すなわち王舎城の北側にある大寺院で、かつて玄奘三蔵が訪れたとき一万人以上もの僧侶が住んでいたといわれる。広大な遺跡も残っている。

さらに王舎城では竹林精舎から霊鷲山に登る。ここはマガダ国の首都らしく、中国の万里長城を小さくしたような城壁が囲み、多くの仏跡遺構がのこされている。

ラジギールからブッダガヤへ。ブッダガヤでは尼連禅河から前正覚山を遠望し、大精舎に参拝した。その日は菩提樹の下でダライラマが講演を行っていた。何千人もの教徒がその講筵の座に連っていた。

ブッダガヤからヒンズー教の聖地ベナレスへ。さらに初転法輪の行われたサルナートへ向かう。日本では「鹿苑寺」とも呼び、知られるダーメク塔を拝み、インドの国宝ともいうべき阿育王の柱頭や仏像などを見学。そしてゴラクプールへ。

ゴラクプールから北へ五十㌔のところはネパールとの国境である。釈迦誕生の地ルンビニに行くには、ゴラクプールからブーガルでインド出国、ルンビニに入る。遺跡見学後、再びインドに入国、カピラヴァストウ（カピラ城）との伝承のあるピプラワを訪れた。ここは平原のなかに塔跡と奉献塔、寺院跡だけが残っている。

再びゴラクプールに帰り、ここからクシナガラに参る。クシナガラはゴラクプールから東方約七十㌔の地点、現在のカシアという町の西南郊外にある。沙羅の樹の茂る遺跡には大涅槃塔があり、巨大な涅槃像を祀る。それを囲むようにして奉献塔の遺跡などがのこっている。

大涅槃塔から東一㌔にラマバル塚と称されるところがあり、煉瓦積の高さ四十六㍍もある大塔が建立されている。このところは釈迦の遺体を火葬、すなわち荼毘にふしたところとされる。この塔に登ると西北の方向に釈迦が入滅の前、最後の沐浴をしたヒラニヤウアティの川を遠望することができる。

ガンジス川の沐浴

四大仏跡を巡拝して再度ヒンズーの聖地ベナレスに戻る。

早朝ホテルを出て、ガンジス川に出かける。目的は話に聞くヒンズー教徒のガンジス川での沐浴とはどのようなものかを見るためである。

町の大通りは沐浴に向かう群集がひしめきあっている。道の両側は門前町といった様相である。この群集に混じってとにかく岸に着いた。眼前に流れるガンジス川の岸には傘を立てた祈祷所が雑然と並んでいる。ヒンズー教徒はここで祈祷を行い、川に入って沐浴する。傍には火葬に用いる焚木を売っている。ガンジス川に船を浮べて岸の様子をみると、ところどころで煙が上る。すなわち荼毘が行われているのである。そして遺骨はガンジス川に流される。その横で沐浴が行われている。その光景は真夏の大混雑した海水浴場の風景に似ている。

狭い露地を通りヒンズー寺院に行こうと思うが、とにかく人間と牛のために歩くこともできない。宗教国インドのすさまじい光景である。

国内航空を利用してベナレスからアグラに向かう予定であるが、飛行機がいつ出発するかわからない。予定では十二時五十分発であるが、三時頃まではだめだろうという。その理由は霧で飛びそうにない。空港では朝の十時頃から待っている乗客もたくさんいる。かなり疲れた顔の人も見られる。以前にもそうであったが、インドの飛行機はいつ飛ぶかわからないのが常のようである。そういえばカルカッタからパトナへ飛ぶ時も、途中ランチ空港に着陸したものの霧のため約三時間待たされた。そのためウィシャリの仏跡を見学してホテルに着いたのは午後の十一時頃であった。

マツーラ博物館

アグラへ行く目的は、世界的に有名な建築であるタージ・マハールやインドのポンペイと並称されるファテプール・シクリの古城などの見学もあるが、ここはすでに以前に訪れたことがある。今回の目的はアグラとデリーの中間にあるマツーラ博物館を見学することにある。このマツーラというところは、マツーラ様式の仏像の発生地であって、博物館には莫大な量の仏像が展示されているという。以前この博物館を訪れたときは、たまたま臨時休館日であったのでどうすることもできなかった。そこで今回は確実に開館されていることを確かめて行くことにした。何しろこの博物館の仏像を見ずしてインドの仏像を語るなかれともいわれるほどである。

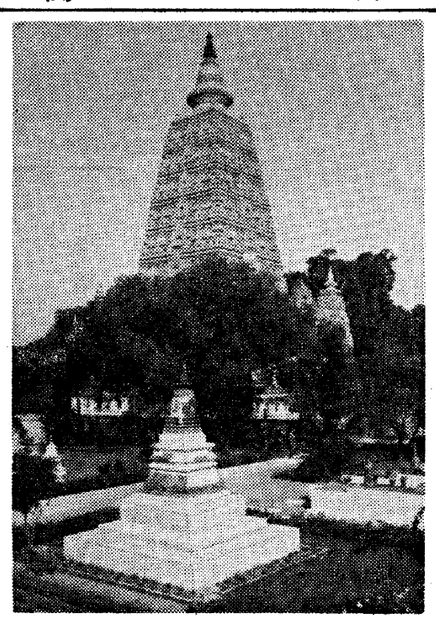
今回は目的を達することができた。さすがに名だたる仏像が並んでいるのは圧巻であった。特に釈迦立像の石造仏はさすがであると思った。

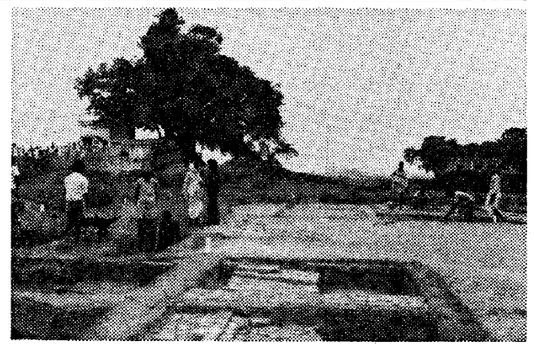
インド国立博物館

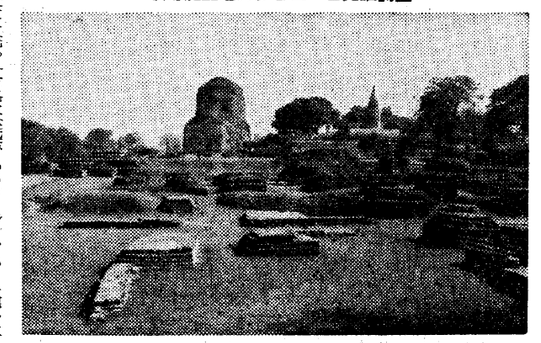
アグラからデリーへ。デリーの町の主な観光地は一通り以前に見学しているが、ここで期待するものは再度「インド国立博物館ニューデリー」である。特にスタインが持ち帰ったシルクロードに沿うトルファンの出土遺物が展示されているからである。もちろんそれだけではない。かつてインドを支配したイギリスが、インド各地のすぐれた文物をここに集めて展示した伝統がある。それだけに質量共に他と比べものにならない。

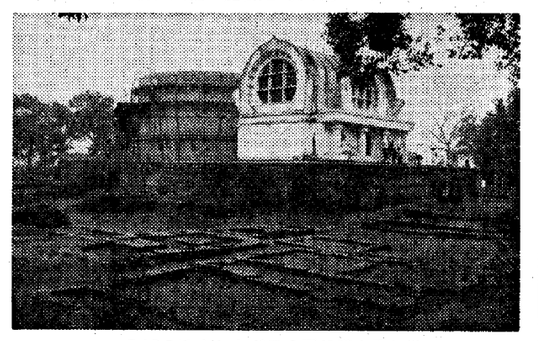
「新疆出土文物」という本がある。この本はもう品切れ近く北京でも買うことができないような貴重な本である。内容は西域出土遺物の資料的価値の高い図録である。ところでこの本に掲載されている遺物は北京の歴史博物館でもみることができなかった。今度このインド国立博物館へ来て驚いたことに、あの「新疆出土文物」に掲載されている遺物がここに展示されている。要するに、新疆出土文物という本はインドにあるスタインの収集したものによって編集されたことが判った。

インドを発ってバンコクに寄った。飛行機の乗り継ぎのためにここで一泊することにし、仏教国タイランドのきらびやかな王宮、エメラルド寺院、そして、国立博物館を訪れ、仏教美術を中心に見学した。


ブッダガヤの大精舎


釈尊誕生地ルンビニーと発掘調査


初転法輪の鹿谷苑（サルナート）


入滅の地クシナガラの涅槃塔と涅槃堂

8回目の「まほろば大学」開講

飛鳥史学文学の講座

足の便に専用バスが登場

大和は国のまほろば――そこに秘められる古代のロマンを追い求める古代史ファンが待ち望んでいるのが、関西大学の飛鳥史学文学講座。四月四日午後一時から、奈良県・明日香村中央公民館で、五十七年度の第一講が開かれる。"開かれた大学"として、五十年に始めて、ことしで八回目。毎月一回、日曜日の午後、関西大学教授が、飛鳥にちなんだ講義をする。会場への足の便をはかって、今春から受講者専用バスが運行される。

関西大学飛鳥文化研究所、明日香村中央公民館が共催する「飛鳥史学文学講座」は、年を追い、回を重ねることに、古代史ファンを魅了し、受講者はふえる一方。当初は、定員を二百人にしぼっていたが、評判が高まるにつれて希望者が殺到し、最高四百七十四人を数えるにぎわいぶり。第七回の受講者は、近畿圏を中心に、札幌、東京、愛知、石川、鳥取、広島、九州に及んでいた。その顔ぶれは、市長、医師、公務員、主婦、学生と多彩、八十四歳の高齢者から十七歳の高校生まで、飛鳥ファンがつどった。

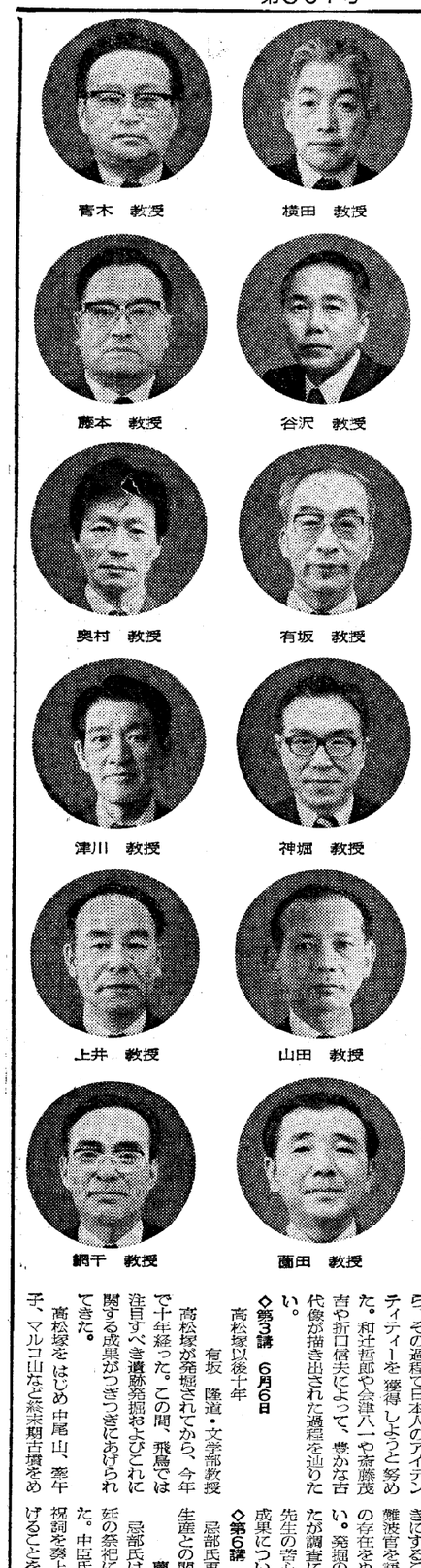
「この講座だけは、聞きのがせない」という常連も多く、講師を勤める教授方も、受講者の熱心さ、質の高さにはおどろくそうだ。

講座は来年三月まで十二講、谷沢永一（文学部）、藤本勝次（文学部）、津川正幸（経済学部）三教授が、新たに講師陣に加わる。

今年は、高松塚の壁画が発見されて十年。昨今の相つぐ出土品のニュースで考古学への関心も一段と高まっているだけに盛会が予想される。最寄りの駅から会場行きバスも登場、近鉄橿原神宮前駅前から三便と、近鉄橿原神宮前駅前から一便出ることになった。これは、関西大学教育後援会OBの組織「千寿会」副会長（飛鳥講座担当）、池田利次郎さんの好意で、四十人乗りバス一台を購入、受講者の足の便をはかる。

受講料は、年額三千円（テキスト代をふくむ）を、郵便局（大阪一一二〇八五三）、住友天六支店、三菱豊中支店、大和銀行天六支店の「飛鳥史学文学講座」に振り込めばよい。

【申し込み連絡先】吹田市山手町三―三―三五　関西大学教育後援会飛鳥史学文学講座係


青木　教授　横田　教授
藤本　教授　谷沢　教授
奥村　教授　有坂　教授
津川　教授　神堀　教授
上井　教授　山田　教授
網干　教授　薗田　教授

◇第1講　57年4月4日
古代最大の行政改革―平城天皇
平城天皇は、桓武天皇が軍事と造都で、国家財政窮迫させ、人民を苦しめた弊害を改革しようとし、二年余の在位の間に多数の官司を廃し、また統合し、人員を削減した。
しかし、藤原薬子との醜聞の故に退位に追い込まれた。
◇第2講　5月9日
近代人にとっての古代像―日本古代史のイメージをつくった個性群像―
谷沢　永一・文学部教授
正岡子規が万葉集の再発見を高らかに呼号して以来、近代人は我が国の古代像を探索し追求してきたが、その過程で日本人のアイデンティティーを獲得しようと努めた。和辻哲郎や会津八一や斎藤茂吉や折口信夫によって、豊かな古代像が描き出された過程を辿った。
◇第3講　6月6日
高松塚以後十年
有坂　隆道・文学部教授
高松塚が発掘されてから、今年で十年経った。この間、飛鳥では注目すべき遺跡発掘調査などに関する成果がつぎつぎにあげられてきた。
高松塚をはじめ中尾山、牽牛子、マルコ山などの終期古墳を中心に、飛鳥びとの哀歓
神堀　忍・文学部教授
「この講座は、ぜひ、高松塚の壁画が発見されて十年。昨今の相つぐ出土品のニュースで考古学への関心も一段と高まっている」という常連も多く、講師を勤める教授方も、受講者の熱心さ、質の高さにはおどろくそうだ。
講座は来年三月まで十二講、谷沢永一（文学部）、藤本勝次（文学部）、津川正幸（経済学部）三教授が、新たに講師陣に加わる。
今年は、高松塚の壁画が発見されて十年。昨今の相つぐ出土品のニュースで考古学への関心も一段と高まっている。
◇第4講　7月4日
飛鳥びとの哀歓
神堀　忍・文学部教授
飛鳥の地に住みなじんだ名もなき人々のよろこびや哀しみ。彼等がその折々に口ずさみ詠んだ数々の歌。
万葉集に遺されたこれら名もなき民の歌声に耳をかたむけ、その想念と表現をたどってみたい。
大口の真神の原ゆ思ひつつ憂へ来しかも人家にいたりきや。
（万葉集巻一三―三二六八）
◇第5講　8月1日
難波宮発掘秘話―山根徳太郎先生の個性と業績について―
山田　幸一・工学部教授
古代宮都を語るのに難波宮をぬきにすることは出来ない。そして難波宮を語るには山根徳太郎先生の存在をぬきにすることは出来ない。発掘の初期、短期間ではあったが調査に参加した講師が当時の先生の若々しく現在までに得られた成果について解説する。
◇第6講　9月12日
忌部氏再考―特に日本古代の玉生産との関連について―
薗田　香融・文学部教授
忌部氏は中臣氏と並んで古代宮廷の祭祀に携わる神事氏族であった。中臣氏は宮廷の神事において祝詞を奏上し、忌部氏は幣帛を捧げることを掌ったといわれている。
◇第7講　10月3日
源平争乱期の女人説話―管絃と静と―
青木　晃・文学部教授
幼子三人の手をひいて大和国宇陀郡へ落ちのびた管絃と、奥州へ落ちのびる義経主従に別れて吉野山中をさまよう静と、これら女人の生の厳しさを戦乱の中に語る説話の種々相にふれてみよう。
◇第8講　11月7日
羅針盤の西伝
藤本　勝次・文学部教授
中国で発明され、ヨーロッパに伝わって、世界の文化の発展に貢献したものに、製紙法と火薬と羅針盤があるといわれている。
今回はこの羅針盤をとりあげてみるが、倭寇が新しい磁針を中国に伝えたと見られていることは注目すべきである。
◇第9講　12月12日
西域の詩
奥村　郁三・法学部教授
昨年はシルクロードの全般的な諸特徴をみたが、その際、時間的制約のために配布した西域の数々の唐詩について触れることができなかった。今年はそれらの詩を通じて西域を眺めてみたい。
◇第10講　58年9月1日
日本の船ふね―古代から近世までー
津川　正幸・経済学部教授
書紀崇神天皇十七年七月の条に、「船は天下の要用なり」とあり、本多利明も「船舶は国家の長器」とその重要性を述べている。
しかし私達は船舶の変遷についてあまり多くを知らない。そこで和船の今昔について考えてみましょう。
◇第11講　2月13日
姻族の伝承―三輪・加茂伝説の再検討―
上井　久義・文学部教授
古代の神話や伝説には、当時の社会のさまざまな文化が反映している。
三輪や加茂の伝説は、神を祭る女性のもとに、人間の姿をした神が訪れ、その子供が司祭者となって祖神を祀る話である。
この問題を通して、古代の親族組織のあり方について検討してみたい。
◇第12講　3月6日
飛鳥諸大寺をめぐる問題
網干　善教・文学部教授
古代飛鳥には大寺があるいは五大寺と称される大寺があった。大官大寺、法興寺、法隆寺、川原寺などは、当時の政治・文化の上で大きな意義をもち、役割を果たした。
飛鳥諸大寺の創建とその盛衰をめぐる諸問題について考えてみたい。

志村のおじちゃんを偲ぶ

文学部教授　横田　健一

いぶし銀のように光るしぶい名演技で知られた俳優、故志村喬（推薦校友）の青春時代、関大時代については、本紙の前号（三月五日付）で紹ぜられた。三月十四日午後六時から「志村のおじちゃんをしのぶ会」の名称で、追悼の会が東京のホテル・オークラ一階平安の間で行われた。

呼びかけ人は、黒沢明、三船敏郎、小沢栄太郎の三氏。正面に故人の大きな肖像写真が白いスイートピーなどの花束に囲まれ、テーブルの花も白一色である。

集まる者約三百人。映画やテレビなどでおなじみの俳優、タレントの顔があちこちに見受けられる。報道班が有名な俳優たちの写真をしきりに撮る。会は、発起人の一人、三船敏郎の司会、黒沢明の開会の辞で始まった。小沢栄太郎の献杯の音頭で、遺影に向って一同杯をあげた。

そのあと、つぎつぎと思い出が語られるものと期待していたら、「みなさんは、おじいちゃんと親しい方々ばかりだから、お互いに想い出を語りあって、故人をしのんで下さい」ということで、マイクによる談話は一切なかった。

私は、久井理事長代理で、はるばる大阪から出向いて、誰もタレントの方のテーブルで水割りをのんでいた。そのテーブルの左手にいる七十代半ばの老人と、その向う側にいる老女性に何か見憶えがある。先方も、何かそう思っているらしい。しばらくして、先方から「どちらから来られました」と聞くので、「志村さんの出身校、大阪の関大から」というと、先方は「神戸の北野で、生まれ育った」という。名刺を交換してすぐわかった。

「ああ、ケンちゃん」と呼ばれた。実は、老人は私の小学校四、五年ごろの神戸教会日曜学校の先生、森田和四郎氏であり、女性はその妹、廣子さんで、私の姉の友人だった。

「志村喬の青春日記」に、「志村が関大時代、豊岡佐一郎とともに宝塚国民座で演出を担当していた森田信義さんが、プロ入りの世話をしてくれた」と書いてある。その森田信義氏の弟と妹であった。

森田兄妹の父は、大正末年から昭和初年、神戸選出の国民同志会の代議士であった森田金蔵である。この二家は、神戸・三宮で医院を開業していた。私の父も、患者であり、教会の同じ会員であった。そして、東京へ移住して世田谷区成城で、志村喬と隣りあわせに住んでいたという。

志村は、私にとっては神戸一中の先輩にあたる。五十年ぶりに出会った森田一家の人々と、「故人の霊の導き」と、奇遇を喜び、愉快な一夜を過ごした。

恩師今西先生を偲んで

商学部教授　松谷　勉

故今西教授

終戦によって台湾から引き揚げられ、昭和二十一年に台北帝大教授から本学専任教授として著任されて以来、先生は関大と共に、商学部と共に歩まれてきました。新制大学移行による初代商学部長として商学部の礎を築かれ、以来四十七年三月に定年退職になられるまでの四半世紀の永きにわたって、商学部の発展に多大の貢献をなされました。先生の清廉にして端正な、正義感あふれるお人柄には、われわれ深い感銘を受けました。

多数の校友の方々は、気得のある、まさに明治の古武士の風格をもたれた先生から、経済政策、証券市場論あるいは有価証券論のご講義を受けられ、文字通り厳格な評価に泣かされたことでしょう。他面、証券研究部の創設以来、長年にわたって顧問教授として親しくご指導を受けられた人々は、人間味豊かな温情に接しられ、あらためて先生の人となりに敬慕されたことでしょう。

昨年秋の校友総会での名誉教授の諸先生に対する感謝状贈呈の後、記念碑を前に「立派な大学とは、現役を退いた教授を大学がいかに遇するかによって決まる。この意味からも関大は、永い歴史に培われて今や一流国立大学と比肩する名実共に私学の雄たるにふさわしい素晴しい大学となった。来る百周年が楽しみである」と喜ばし気に得意の大きな声で、われわれゼミ卒業生・証志会の会員達に話さ

桂三枝が母校訪問

ブラウン管でおなじみの落語家桂三枝（本名河村静也・商学部出身）が、三月十二日、母校関大を訪れ、大西学長、久井理事長らと歓談した。

学生時代、クラブ「落語大学」の二代目部長として活躍した三枝は、ことしが「落語大学」創部二十周年にあたり、大阪・オテルプラザで記念式（三月二十一日）を開くのを前にあいさつにきた。

「今日の私があるのは、蛮カラといわれる関大精神に負うところが大きい」と語り、初代部長の林省之介文学部助教授（45院修国）と、キャンパスを散策、「なつかしいなあ」を連発していた。

会員を募集しています

司法試験受験研究会

関西大学司法試験受験研究会では、会員を募集している。卒業生も応募資格があるので、希望者は申し込まれるとよい。

◇初級クラス　三百五十名・先着順受付・ガイダンス　四月九日
◇中級クラス　Aコース・Bコースとも　各五十名
ガイダンス　四月二日
受付　四月一日―五日
試験日・科目　▽Aコース　四月七日　憲法　民法　刑法　▽Bコース　四月七日　商法　民訴法または刑訴
◇会費　各六千円（年額）
詳しいことは、関西大学法学部事務室　司法試験研究会係へ。

喫茶　ベカ
地下鉄東梅田・日興証券ビルB1　電313―6774

おしゃれの店
MAKE UP FASHION
タム
杜長勝章（昭和25年商学部卒）
本社　大阪市南船場4―6―10 新東和ビル
ネクタイ・オーダーシャツ
梅田店　ウメダ地下センター
ネクタイ・洋品雑貨
アベノ店　アベノ地下センター
京都店　京都駅前ポルタ
婦人アクセサリー
ミナミ店　難波虹のまち
東京・横浜・松戸・名古屋

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　550大阪市西区北堀江一丁目一一一八　電話大阪(五三八)代表三六二一～六番
支店・営業所　東京・名古屋・福岡
工場　静岡・川西・神戸

地域社会に奉仕する小川産業
西大寺駅前デパート　TEL 0742 (44) 7501・7595
学園前ストアー　TEL 0742 (45) 7276
木津駅前ストアー　TEL 07747 (2) 2932
富野荘駅前デパート　TEL 07745 (2) 8012
郡津駅前デパート　TEL 0720 (92) 5101
本社　奈良市西大寺国見町
小川産業株式会社
代表取締役　小川禎一（昭32学1法）

ビーズハンドバッグ
刺繍製品

装いに！
御贈答用に！
はしもと
▶島之内店（小売専門部）
大阪市御堂筋三ツ寺南3軒目
TEL.(211) 2306
本店：大阪　東京店：八重洲口